

林下曹洞宗における相伝史料研究序説（六）

——永光寺関係史料篇（上之二）——

飯塚大 展
土屋圭子

はじめに

本稿では、前稿に引き続き石川力山氏「中世曹洞宗切紙の分類試論」の中心的な研究対象であった永光寺所蔵切紙の全体像を概観することを目的とする。駒澤大学図書館蔵『佛佛祖祖相傳秘密正法眼藏』上冊（一八丁表～卷末）を翻刻紹介したいと考える。また、今回は、駒澤大学大学院修士課程二年土屋圭子に切紙の大事部分（図）の作成の協力を得た。

【翻刻凡例】

- 一、本史料翻刻に際して、底本には、駒澤大学図書館蔵『佛佛祖祖秘密正法眼藏』を用いる。
- 一、底本の翻刻の体裁は、史料の原形をできうる限り反映させることを原則としたが、掲載の都合上、図と本文との関係（前後左右）を変えた場合がある。文字の大きさも同様に、必ずしも統一できていない箇所がある。尚お底本と永光寺現存史料との校合は、別途行なう予定である。
- 一、参考史料として、正法寺所蔵『佛祖嫡傳聖財之卷』を二段組で翻刻する。
- 一、翻刻に当たっては、異体字・略体字・別体字・俗字等は、原則としてその書体に近い形で翻字を行った。ただし一部現行の書体にて翻字した場合がある。省文等も同様である。また、明らかに誤写と思われる部分については、また脱字が明かな場合には、必要に応じて他のテキストを参考にし、傍注を付した。

- 一、踊り字について、片仮名は「、」、「ゞ」、「漢字は「々」、「々々」を用い、二字以上の「く」「ぐ」も用いる。
- 一、合字の「亅」「メ」「ヒ」「ヒ」は、そのまま翻字する。
- 一、濁音・促音等の表記は、原文のままに翻刻し、敢えて統一ははからない。
- 一、句読点に関しては、読解を便ならしむるために、適宜これを補う。

【駒澤大学図書館蔵『佛佛祖秘密正法眼藏』上冊】

(30) 永光一駒澤 0030 「阿難應諾話」

「三十」



阿難應話
(音取カ)

事大

師示云、迦葉刹竿ノ話ヲ、何トテ阿難應話トハ云フタゾ。
 拳、何ト云モ俣テ候。○證拠ヲ。拳、師ヲ推ノケテ坐ス
 其跡^一。○尚ヲモ子細ニ。拳、幡利囁^シ無為^ニ、應話通^ニ無為^ニ
 候。○應話ヲ。拳、心通^レ心^ニ、○通處作麼生。拳、阿難力其俣迦葉^テ
 候。畢境ヲ。拳、有^レ我^ニ有^ニ三昧。

〔31〕永光一駒澤 0031 「小藏誰之圖大事」
〔三十一〕

小藏誰之
圖大事
代々傳來如也
可秘くく



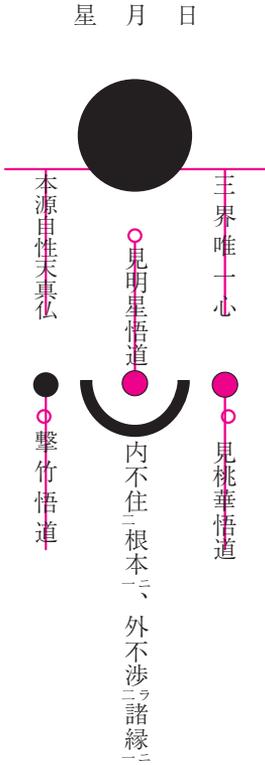
世尊六年端座爲「不分誰」相見「人々具足本性」

達磨九年面壁爲「逢」渠「縮則方寸口、展則充十虛」

(18才)

〔32〕永光一駒澤 0032 「三悟道之大事」
〔三十一〕

三悟道之大事



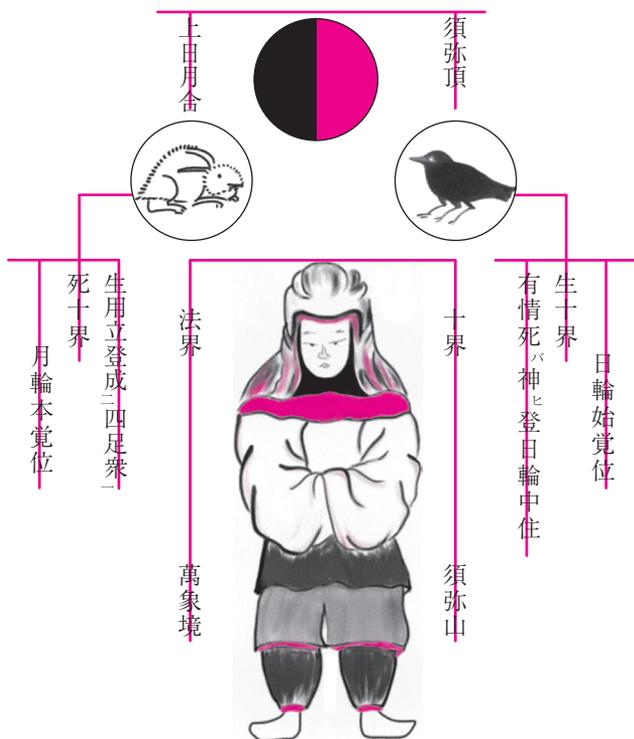
(18ウ)

林下曹洞宗における相伝史料研究序説(六)(飯塚・土屋)

林下曹洞宗における相伝史料研究序説(六)(飯塚・土屋)

(33) 永光一駒澤0031「生十界死十界曹洞秘密旨訣」
〔三十三〕

佛祖正傳生十界死十界曹洞秘密旨訣



生佛心日月和合之根源生死大事 口傳云ク、佛モ衆生モ有情モ非性モ

生佛心一等、不二之心^{ナル}故^ニ、法界一如而ソ無^レ別事^一、一切衆生死^レ生佛心之三魂、皈^ニ本覺ノ日輪^ニ、成^テ三足之鳥^ト、住^ム日輪之中^ニ。三界万徳之種子^モ、一切衆生ノ種子^モ一如也。生時日月輪^{ヨリ}生^{スル}故^ニ、死スレバ亦生ノ用立登^テ皈^ニ本覺之月輪^ニ、成^ル四足兔^ト云^ニ。是^レ月輪^ト。是^レ匠^ノ本性^ヲ、晦日刀時^ト、日月登^ニ須弥頂^ニ、星宮殿^ニ而和合^ス。日輪種子下生^ニ三界^ニ。用^ハ月輪^ニ立^チ登^ル故^ニ、次第成^ニ圓滿^一、亦月輪從^ニ二十五日^ニ、次第^ニ用^カ減^テ、晦日^ニハ用^皆失^テ成^ニ黑月^ト。是^レハ下^ニ三界^ニ種子^ヲ養^フ萬象^ノ故^レ也。亦晦日寅時^{ヨリ}用^次第三^ニ立^登ル故^ニ十五日^ニ成^ニ滿月^ト。日輪^ハ火、月輪^ハ水、男火女水。因^レ是^ニ男婦水少、女^ハ婦水多、法界ノ中^ニ而^モ、火少ク水^ハ多シ。死^レバ三魂^皈本覺ノ日輪^ニ。七魄^登テ天^ニ成^ル三^ニ世ノ真道^ト。五臟^止テ地^ニ、一切ノ鬼神^ト成^レ也。衣^ナ天上^ニ而成^レ雲。故^ニ日月常^ニ覆^テ無^レ光^リ、是^レ云^ニ荒神^ト也。人間作^ニ善惡^一、障^テ荒神^{ナリ}。萬法種子根源、日月、男女、火水自^ニ性^ニ生^也。(19ウ) 吞良云、生^ト者、一切衆生ノ種子、火精也。佛者、悟心、水精也。心^トハ、人間種子、風精也、風勢也。生佛心^ハ、水火風ノ三也。是則十界之精也。三足鳥也。男^ハ、日輪現^ル也。女^ハ、月輪未^来男也。去^レ文曰、胎内即是名本覺^ト。此文ヲ見^ルニ、月輪中^ハ、母胎内ノ事也。胎内^ニ入^ルカ、本覺也。此切紙心得多^ク難^レ極^也。月圓欠^ケモ、生死乃^ニ二路^モ有^ニ此中^ニ。須弥^トハ、人^ハ躰也。人身^ヲ立^{ツル}須弥^ト時^ハ、日月兩眼也。風氣息也。此図ノ時^ハ、日月父母也。須弥^者、我身也。

(34) 永光一駒澤0034「五位之秘訣」(仮称)

永平希元禪師云、彼優婆塞多尊者、後^ニ法嗣^一商那和修^ニ。顯夢有^リ靈驗。黑常山^ニ侍立^ス。彼ノ山從^ニ石窟^一、一卷ノ疏取出、月支、震旦、日域^{イキ}流^ヒ希^ス。梵文疏自^リ是始也。尊者夢處、阿字、即五智五佛本^ニ躰也。五根・五臟^辨・五部^辨、又自^リ是始^カ歟。曹洞門庭、今唱和處、五位之秘訣、是也。五位者、所謂旨訣五位也。偏正五位也、君臣五位也、巧薫五位等。縮^ニ二字^ニ則阿^ハ吽^ノ二字、偏正・黑白・理^支・君臣・色空・明暗等也。是皆從^ニ阿字^ニ出^テ、則取^ニ阿字^ニ者也。是則吾宗建立也。雖然^リ、如是泥^レ(20ウ) 語^ニ沈^ミ句^ニ不^レ可^レ拘^ニ文字文章^ニ。頁^ニ是阿字ノ當人、吽字之當人而始^テ得^一。亦中南^ニ二天^ニ儀表徳、高文雖^ハ莽^ハ爾^{ナリ}ト、也從釋迦牟尼佛^ニ傳來而到^ニ達磨大士^ニ、二祖并^ニ祖々^ニ相傳而、我祖到^テ如淨禪師^ニ、忝^ク予^モ天童之笏室^ニ於^テ、親^ク相承者也。我朝末孫之々子、速^ニ可^レ有^ニ直傳^一者也。仍^レ之^ニ有^ニ截紙^一可^レ秘^レ。

(36) 永光一駒澤 0036 「鄂州大陽開山明安大師卵形未分圖」

「三十六」

鄂州大陽開山明安大師卵形未分圖 云「夜參血脉」

 卵形未分	毘盧界 極樂 佛陀 寂光土 無人境 佛眼鏡 古鏡臺 大魔 不動 <small>ナリ</small> 風正鉢	上段也
 分破晝	化身界 天宮 衆生 修行土 諸人境 凡眼銀 破鏡臺 佛界 風分 <small>テ</small> 作 <small>レ</small> 天 <small>ト</small> 少動 <small>ナリ</small>	中段也
 卵形夜	報身界 地獄 菩薩 清淨土 大人境 法眼金 業鏡臺 魔界 地 <small>分</small> 大動 <small>スル</small> 風 <small>ヤ</small>	下段也
 陽田清	日理 臣 現在 生善樂 一夜落花雨 百億分身處々身 普賢乘 <small>レ</small> 象 <small>ニ</small>	天父徧
 一般不二	星 君臣舍道 未來 死生一致 滿城流水芳 銀河波底兔推輪 文殊乘 <small>ニ</small> 獅子 <small>ニ</small>	人中我
 陰黑濁	過去 死惡苦 長夜漫々 紫極宮中鳥抱卵 唯我獨尊	父正母

大師告テ遠ニ和尚ニ云、知ニ卵形未分時一無。遠即云、如何是卵形未分時。師以レ手ヲ作テ●形ヲ示。問、卵形分破作レ天時如何。師以レ手ヲ作テ○形ヲ示。問、卵形分破作レ地時如何。師以レ手ヲ作テ◐形ヲ示。(21才)問、如何是卵形未分性。師即默示。如何是天形性。師則出ニ陽息ヲ示。問、如何是地形性。師則出ニ陰息ヲ示。遠忽然ト大悟、礼謝去。後ニ某甲遠書ニ卵形圖并ニ師圈續ヲ、以

林下曹洞宗における相伝史料研究序説(六)(飯塚・土屋)

作^ス宗門之一大要因縁^ト也。謂^ニ之三個劍^ト、又謂^ニ之三談訣^ト、又謂^ニ之三世ノ血脉^ト、又謂^ニ之三寶論、又謂^ニ之三生眼^ト也。
夫卵形之葛藤^ト者、天之陽氣下、地陰氣合而自生^ニ動搖氣^ヲ、自生^ニ万物^ヲ。殊^ニ有^ニ卵生・胎生・濕生・化生四生、各自具^ニ五蘊^ヲ、生^ニ六根^ヲ矣。愚^ニ而迷^カ故^ニ、皮毛戴角而墮^テ起滅坑^ニ、沈淪三界。知^ニ悟^故、教外別傳^ヲ出^テ、生死ノ窠窟^ヲ、遊^ニ履^ス十方^ニ。皆是天風地風虫之所^レ作也。何^カ故^ソ。威音如來昔坐^ニ斷^ル卵形中^ニ、而^モ未^ク會^テ地出生^セ、是時諸佛不^レ知諸佛^ヲ、菩薩不^レ見菩薩^ヲ、謂^ニ之不見不知之時^ト。如來出世^{スル}時、廻光徧照^{シテ}而深^ク省^ツ本身相^ヲ、得^レ爲^ニ三界導師^ト。曾靈山會上^ニ、拈^ソ一(21ウ)枝芳^ヲ而^モ引^ニ得頭陀微笑^一。後^ニ正法流^ニ希天下^ニ。皆是卵形分破而以來之妙道也。若問^ニ卵形未分時^ヲ、無^ニ一法^一。吾^カ師明安大師、深^ク省本身之相^ヲ、權^ニ立^ニ此三種之圈續^一、某甲^ニ附^ス。予信受^シ奉行畢。勿^レ疑諸方禪流、此一大事因縁^ヲ。可秘^ク。

右通^リ道楷記畢、附^リ了淳、傳轉如淨附^ニ授永平^一、自永平^一嫡々傳來到^ル洞谷^ニ。今附^ニ四門人^ニ了^シ。紹瑾判在^リ。

龜多尊者傳記アレトモ今畧^ス之^ヲ。

(37) 永光一駒澤 0037 「榮西僧止記文」

「三十七」

榮西僧止記文

榮西求^レ法^ヲ爲^ニ爲^レ懐^ク、欲^シ征^ニ西^ノ乾^ニ。生年二十八歳ニシテ、渡海シ入唐ス。彼国ニ佛法將^ニ（特カ）盛^{ナリ}。王公相將皆歸^ニ佛道^ニ。見^ニ此風氣^ヲ、隨喜銘^レ肝^ニ。其年秋ノ間ニ皈国。後ニ再入宋參^ス善智識^ニ。聊^カ傳^ニ臨濟之宗風^ヲ、兼^テ善^ク吾家之公案^ヲ、駐^ニ日本^ニ、錫^ト太白^ニ、始終五年。于時虛^{（22才）}菴懷敏禪師爲^ニ爾當寺之堂頭^ト、礼爲^ニ傳法之宗師^ト。是^ノ師是^ニ乃^チ到^リ也。遂^ニ日本^ニ、建^ニ立^ス三^ノ寺^ヲ、潜^ニ弘^テ通^ス祖師之道^ヲ。然而未^ダ廣博之傳授^ニ所以、時節未^レ到也。時節若^シ到^{ラハ}、法自然行^レ焉^ヲ。榮西建^ニ立^ス三^ノ寺^ヲ、建^ニ仁^ノ寺^ヲ、聖福寺、壽福寺、專^ニ志^ス禪宗^ヲ。但^シ鐘撞未^レ過所以、不^レ遠^レ響而已。此^ノ三^ノ寺院、頭蜜交^テ、興^ニ廢^レ代^テ謝^ル者、暫^ク候^レ寺^也也。雖^レ然^モ如^キナリト是、始終應^レ歸^ニ禪宗之一門^ニ、是則榮西多生願念也。榮西在世之間^{タニ}、結縁道俗、助^ニ成^ス此^ノ道^ヲ、弘^ク傳^フ吾朝^ニ、彼時国王大臣帰^シ信^ニ此宗^ニ、興^ニ隆^ス此宗^ヲ、其時明^メ心^ヲ悟道之人充^ニ滿^ス於^ニ朝野^ニ、榮西門人以^ニ清淨之梵行^ヲ爲^レ業^ト。以^ニ三衣一鉢^ヲ爲^ニ所持^ト、永^ク抛^ニ名利^ノ之輩^ト、當^ニ授^ニ傳^ス大道^ヲ也。粗違^レ之、非^ニ吾^ノ弟子^ト。應^レ知、榮西去^レ世^ヲ後、五十年ノ以後、大道盛^ニ於^ニ日本^ニ焉。悉知^セヨト。或^{ヒハ}依^リ應^ニ真^ニ之告^ニ、（22ウ）或得^ニ上天^ノ告^ヲ記^ス之。

皆建保二年甲戌正月二日、榮西録^ニ與^ニ三門人^ト明全^ニ。在判

大宋宝慶元年乙酉五月廿四日、明全傳^ニ道元^ニ。全在判

此記ノ文ハ、永平開山和尚諸宗血脉内加納^玉所也。

今正和四年乙卯八月七日写^ス之者也。

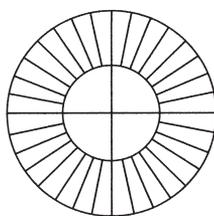
先師傳戒之本師演和尚ノ遺物也。演公入滅之後、条々云、夢中^ニ在^リ垂示^ス。其^ノ中正和四年七月廿九日、垂示^ノ曰^ク、予^カ以^テ先師^ノ道元^ノ之嗣書^ハ血脉^ヲ授^シ渡事^ハ者、開山示^曰、此嗣書等ハ悉^ク是^レ御邊先生^ニ之所持物也。開山曰、御邊者予再来也。即不^レ他^ノ物^ニ、総^シ可^レ與^テ授^ケ之^ヲ。垂示^ニ承^ケ之^ヲ。予不^レ知處、以^ニ禪眼^ヲ渡^ス之^ヲ。予預^メ人也。御邊本主也。仍^テ紹瑾開^ニ此書等^ヲ一禮拜^ス。同拜之人、紹瑾^ハ左、素哲^ハ右脇^ニ可^レ並立^ス。重^テ坐^シ而禮拜^{シテ}奉^ニ拜見^ス。条々（23才）雖^レ在^ニ三子細^ニ、不^レ記^ス之。爲^ニ後代^ノ一記^ス之。僧正之記文、應^ニ真^ニ之告符之間、令^レ寫^サ此記文^ヲ也。

大乘第二代 洞谷紹瑾 在判

林下曹洞宗における相伝史料研究序説（六）（飯塚・土屋）

良云、是録智識勘弁之大事也。大者紙一枚ニ書シテ裡ニ作レ凶也。

(38) 永光一駒澤 0038 「栄西僧止記文注」
「三十八」



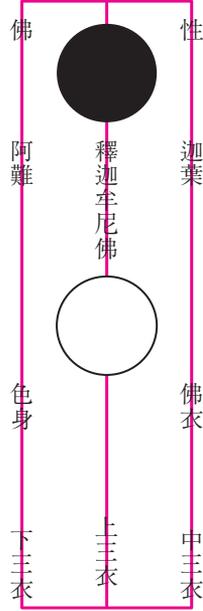
良曰、是レハ應真之告符也。右記文録者、智識之眼目也。切紙成就不成就乃勘辨ヲ、以ニ此記文ニ點見スル也。大ニ厚紙ヲ以テ、表ニ記文ヲ書シ裡ニ作ニ此凶也。切紙點見ニハ、切紙盡ク調タルヤト問フ相拶拔ニ、中中記文ノ録迄テ相傳了テ候。時又タ裡ハト問。嗒テ曰、應真ノ告符テ候處ヲテ、於ニ當一派ニ成就長老テ候。珍重々々。

此故ニ表ニ書シ記文ヲ、裡ニ書シ告符ヲ也。諸切紙皆々相傳了テ、此切紙ヲ附與スル也。此凶猶秘ノ不犯也。是勘辨之大事也。自ニ昔日一到レテ今ニ、切紙者、問ハ早ヤ記文ノ録迄嗒ル也。可秘々々。

(23ウ)

(39) 永光一駒澤 0039 「大衣之書」
 「三十九」

大衣之書 法界一心萬法 佛袈裟



夫佛袈裟者、先法界^ヲ自為^ニ大衣^ト、故^ニ云八万四千條^ト也。謂是八万四千毛^竊^也。佛袈裟者、人身也。即身即佛ノ正躰^ニ而自佛身^ヲナル故也。即今愚忘之迷徒^ヲ云^ニ不淨衣^ト也。是真之一袈裟也。此ノ凡肉身便悟^ニ佛身^ト、箸^ニ衣大衣法服^ヲ云也。眼耳鼻舌身、空風火水地、青白赤黑黃、則大衣之紋綵也。是大乘乃大衣也。代々相傳如此也。

(40) 永光一駒澤 0040 「住山圖」
〔四十〕

住山圖 又鉗斧住山貴裡紙 亦垂下禮拜話之切紙

住山

本分

之眼

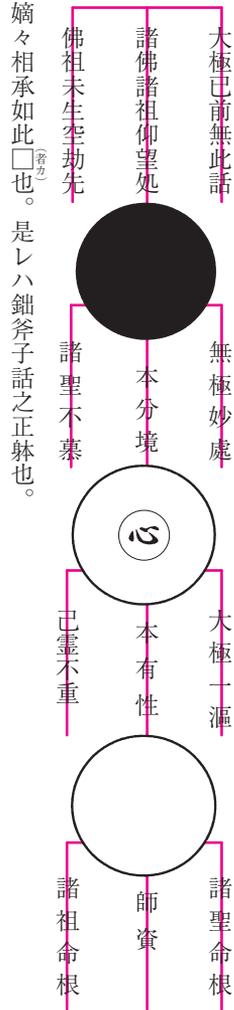


師云、本分境ニ住山シ様ヲ。挙、師ヲ推除坐ス。云、夫レハ何トテ。挙、困^(国力)無^二一王^一。尚ヲ子細ニ。挙、作^レ産帝王テ候。夫レナ
ラバ、何トテ嗣法、何トテ許ルサレテハ、住山シタゾ。挙、繼了ハ、弟子カ直^ニ師^ニテ候。云、繼様ヲ。(24才) 挙、松ハ松ノミ
トリ、杉ハ杉ノ翠^リカ出テ候。心者、国ハ境界、心ハ王也。王テ王位ヲツイダ時、繼目ノ無イコト也。是ヲ内紹不出ノ君ト云
フ也。當則ハ、尊貴テ尊貴ヲ紹イダル事也。石頭ガ直ニ青原也。本有天然向上其俣ノ貧處也。少功作無ク當處^ニ混濁ナキ也。
不^レ經不^レ盡尊君也。鉗斧子ハ、一物之事也。師云、住山ノ眼ヲ。挙、師ノ前^ニ到テ、如何ニモ静^ニ二啗^{シテ}伊^{レテ}候。○證^レ抛ヲ。
挙、柳ニハ緑^リ花ニハ紅^イ、金ニハ火、木ニハ水ヲ具シテ候。○畢竟ヲ。資即礼三拜。心口ハ、鉗斧子、一佛性ノ異号也。眼ト
ハ是也。佛祖共ニ化縁ニ引カレテ出生ナレト、即今久遠本分ノ本主ト見レハ、久遠ヲ不^レ出、化相^ニ着セヌ也。是ヲ内紹不出、
本分ノ俣ト云フ也。君主也。云、住山ノ話ヲ、垂下ノ礼ノ話ト云タル心ヲ。挙、相續不断ノ心^子テ候。萬歲^ノノ^ノノ^ノ。至
祝九拜。

嫡々相續如此也。可秘^ノノ^ノ。(24ウ)

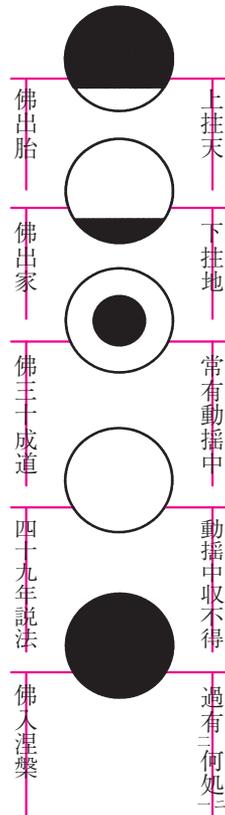
(41) 永光一駒澤 004 「鋤斧子之図」
「四十一」

鋤斧子之図 又住山之大事



〔42〕永光一駒澤0042「喫菓子話之圖」
〔四十二〕

喫菓子話之圖 良曰、一物ハ陽ニ隨ヒ陰ニ伴ヒ来テ不_レ陰陽落、即今無形ナルユヘニ、亦無_レ所住ノ處_一。
有一物



良曰、正中偏、暁天。正_一来、日中。（開カ）徧_一正、日暮。（兼カ）兼中到、夜半。（兼カ）兼中至、申時。代々相相如此也。可秘。（25才）

(43) 永光一駒澤 0043 「六祖大乘見解」

「四十三」

六祖大乘見解 不生不滅之大事 (六祖以来半紙ヨコキリ二十一行ニ書也。)

六祖大師云、大乘見解者、明ト與ニ無明一、其性不二ナリ。無ニ之性、即是佛性也。佛性者、處ニ凡愚ニ而不レ滅、有ニ賢聖ニ而不レ増、住ニ煩惱ニ不レ乱、居ニ禪定ニ而不レ寂、不レ断不常、不來不去ニシテ、不レ住ニ中間一ニモ、及ニ其内外一ニ、不生不滅也。性相如々トシテ常住ニシテ不遷ナリ。名レ之云レ道。箇曰、師說ニ不生不滅ト、何異ニ外道ニ。祖云、說ニ外道不生不滅ト者、以レ滅止レ生ヲ、以レ生顯レ滅、我説ニ不生不滅ト者、本自無生ニシテ、今則無滅也。無滅所以ニ不レ同ニ外道、你欲レ會ニト必要ヲ、但タ一切善惡都テ莫レ思量ニ。自然得ニ入清淨ノ心躰ニ、湛然常寂、妙用恒沙ナラン。箇蒙ニ師教ヲ、豁然ト開悟ス。(異本ニ簡トアリ。)

永平希元在判 (威ヲトラフ性アリ。トヲリ入ハカナフ。)

正中甲子二月朔日 紹瑾在判 (25ウ)

(44) 永光一駒澤004「頂門眼切紙」(仮称)
「四十四」

六祖云、頂門眼照ニ破四天下^一、是那个眼睛ソ。自指^三面前灯笼露柱云、瞥眼瞥耳^二这个響。云、眼々相對頂門眼、心心相投已前心。永平大佛希元投氣^二云、頭對^レ肩^ニ兮耳對^レ眉^ニ、箇^レ眼^ニ喚^レ喚^レ作^二頂門眼^一、是正法眼也。一切開華老梅樹、是則瞿曇眼睛也。正僧承當^ス。拈^二三個頂門眼睛^一、百億^レ須弥、百億^レ日月、無邊風月、唯沙門之一眼睛也。去^テ不盡乾坤灯外燈。(瞥眼一不^レ見不聞也。花ノ如ク見^テカ、頂門眼ナリ。右良和上云々。)

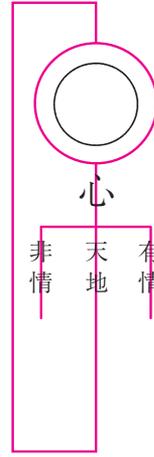
六祖云、眼々相對頂門眼、心心相投已前心。永平和尚云、頭對肩兮耳對眉^ニ、此眼^ヲ喚^ンテ頂門眼、作是正法眼也。此正法眼^ヲ呈露^シ投機^ス。即是宗門棟梁、叢林繁茂也。非^ンバ正嫡^ニ不^レ可^ニ傳授^一。可秘^〱、同參。頂門眼^ヲ。拳、師^ノ前^ニ座^シテ而兩手當^レ腮^ニ居也。心宿胎之孩兒之眼カ、頂門眼也。少^シモ無^キ知解、亦向^レ師^ニ、本国本名^ヲモ名乗^ル也。是^レハ白色無辨^ヲ取^ル也。珠岩玕和尚曰、頂門ノ眼。拳、指^二眼影^一。心、睡起ノ眼差也。是頂門眼也。句ヲ。拳、鴛鴦瓦(26才)上^ニ瞥然声一^一驚。

○大源真孫恕中間云、我祖翁此話^ニ投機^シ、我亦廿年前、涕淚非泣、个^ノ話^ニ當著^ス。眼者^{イッハ}、総名也。爲^レ明^アサンカ一實中道圓眞佛性^一、豈^ニ恰^カモ契悟^センヤ。髑髏前^ニ有^二本来靈^一、照^二徹毘盧頂顛^一。个眼^ヲ發開^ンバ則明々ト^メ不^レ明、又合則暗々ト^メ不^レ暗、雖^レ然亦不^レ預^レ開合^ニ、或十八眼、或六眼、或五眼以莫^レ頂門眼成^ス。雖^ニ與麼^一ナリト、亦不^レ可^レ捨^ツ。透^ニ徹^セハ此語^ニ、井驢話、三悟道、目前真大道、正法眼^ニ當人^{セン}。口歌非^ンバ正嫡^ニ、不^レ嘗^カ知^レ之^ヲ實^ニ不^レ辨得、如何是分^ニ邪正^一乎。可^レ秘^〱。不^レ有^二傳授^一ノ人^ニ、堅^ク不^レ可^ニ傳付^一。(林外^ヲ云^レ口同^レ洞^一)恕中師梅山聞本和尚語^ニ着、唯佛予佛、乃能窮盡。亦畢竟着語^ニ、只此^レ不汚染、諸佛護念處^一。

良云、梅山・恕中、當山^ニハ末山末師^ユヘ^ニ不^レ用^ヘ、雖^レ然爲^二證據^一書之。頂門眼者、切紙^ニ通^{ナリ}。一通^ツ、別紙^也。

(45) 永光一駒澤 0045 「頂門眼之切紙」
 「四十五」

頂門眼之切紙 六祖云、頂門之眼照ニ破四天下、

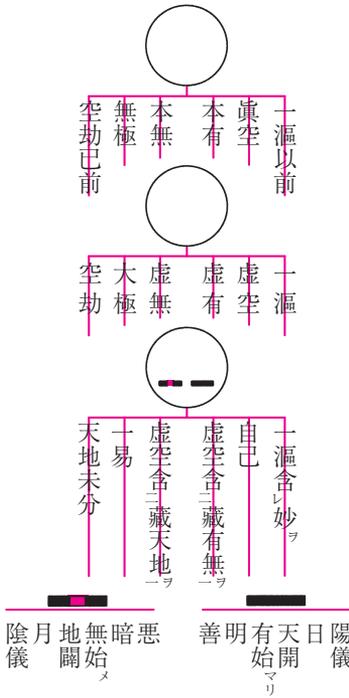


看^ニ見^{スル}ハ、法界萬象^ヲ、及^ニ肉眼之^一處^ロ也。觀^ルハ無形暗々處^ヲ、見破也。謂^ニ之^一頂門眼^ト也。亦是云^フ道眼^ト。冥目良久^メ見^ルニ十界^ヲ不^レ見無^レ處也。

天童淨和尚永平元師代々相承到^ニ洞谷^ニ。

(46) 永光一駒澤 0046 「趙哀無切紙」
 「四十六」

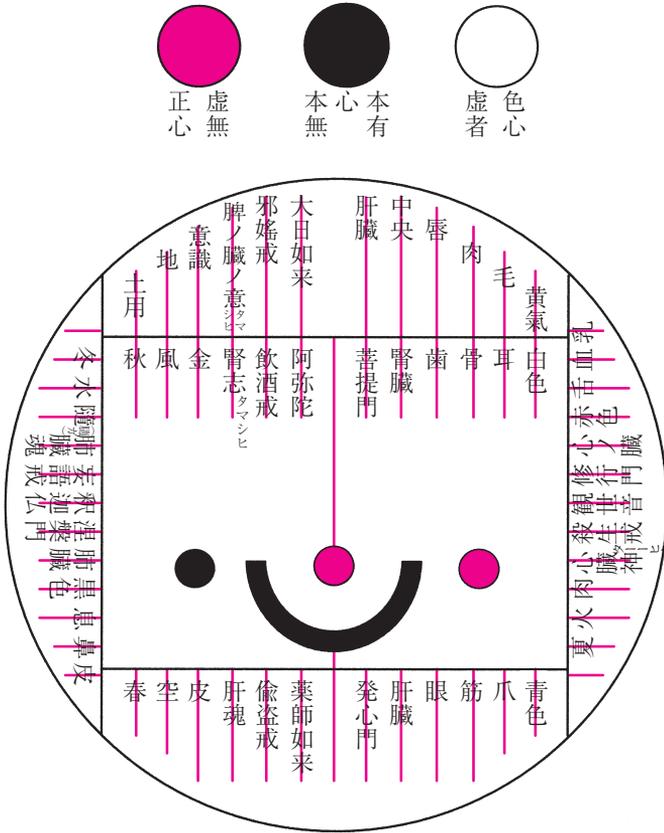
趙^ヲ哀無切紙 又無之大事 又無之辨 大極云^ニ儀^ヲ云^ニ久遠^ヲ、今時^ト。



林下曹洞宗における相伝史料研究序説 (六) (飯塚・土屋)

(47) 永光一駒澤0047「趙哀無之大事」
 「四十七」

趙_ク耳無之大事 外圓八、大日也。心三點、_下横釣四維也。



〔*以下の文、図の下にあり。〕

師示曰、本無^ヲ。拳、火燵^ニ水^ハ冷^テ候。

拶^ノ云、知得シタラバ、虚無^ヨ。知

不知^ニ落^ヌ様^ニ、[◎]、有^レ我^ニ三

昧、我^モ亦不^レ知。夫^レハ何^トテ。

拳、人々^々乍^シ具足^シ、不^レ知呈^ニ、

本無^デ候。

良曰、無^ト心^ト妙^ト性^トハ、

一ツ也。本分ノ本主ニ種々^ニ

異号スル也。万象ハ無^ノ

字^ニ具^ル也。種々^々無^尽

ノ事、心ノ字ニ籠^コモル也。妙ノ

字、性乃字、同シ心也。即今^{ヨリ}

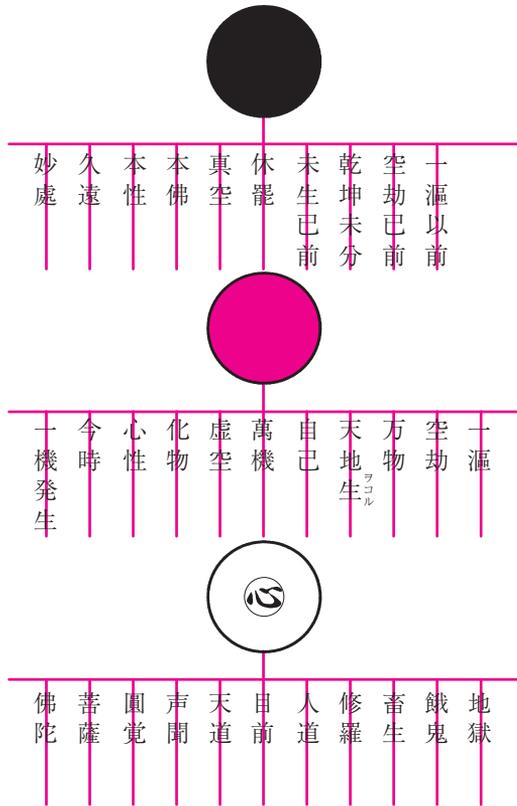
無形^ニテ不^レ見^カ、本心本無^也。法界^ニ

充^光ツル^ルヲ、万法之心^ト云フ。一切衆生、佛

生ヲ具ス^ル也。

天童永平嫡々相傳如此也。(27ウ)

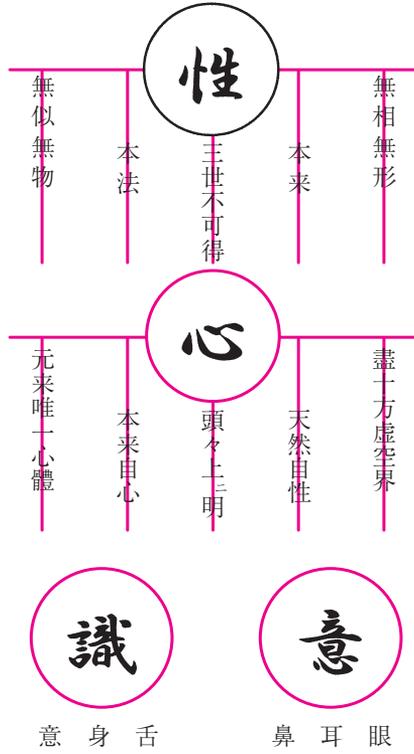
(48) 永光一駒澤0048「萬機休罷之切紙」
萬機休罷之切紙



師示云、万機ヲ。拳、畫^テ一圓相^ヲ云、頭々^{モツ}物物上。へ良云、於^テ法界上^ニ総無量ノ事ノナリ。師云、休罷ヲ。拳ス、諸縁^ヲ脱却シテ候。良云、化縁脱出カ休罷ナリ。生死透脱也。脱端^ス之活処也。畢竟ハ元来不^三相^ニ干生死一本位^{ナリ}。是^ヲ内不^レ住^ニ根本^ニ、外不^レ涉^ニ諸縁^ニ一本主ト云也。即今不生不死、不苦不^{業カ}樂^カ之當躰也。可秘^ク。 (28オ)

(49) 永光一駒澤 00469 「不可得之圖」
 「四十九」

不可得之圖

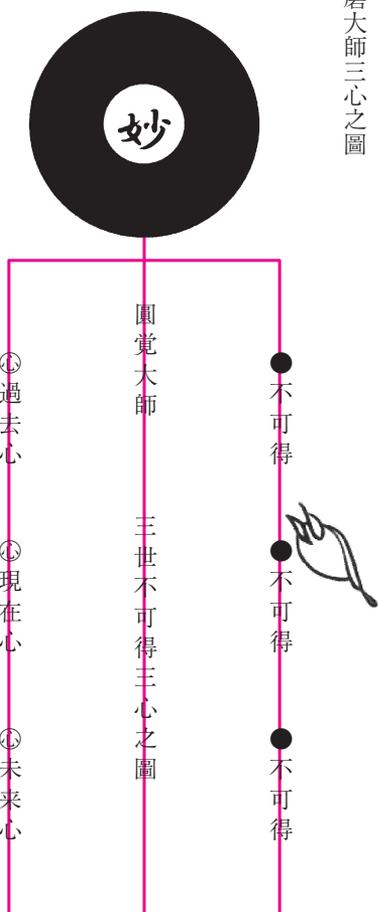


代々相傳如此也。

良曰、本分妙旨者、乾坤ニ充塞シ、法界上ニ平等ニ、雖ニ顯露一、根本無形故ニ、曾テ無ニ蹤跡一、不ニ毛頭モ露レ故ニ、不可得々々々ト傳
 来ス。故ニ不可得即當人也。聖人見性ノ不可得ト、愚盲不可得ハ、別格也。
 可秘〜〜。(28ウ)

(50) 永光一駒澤 0050 「達磨大師三心之圖」

達磨大師三心之圖



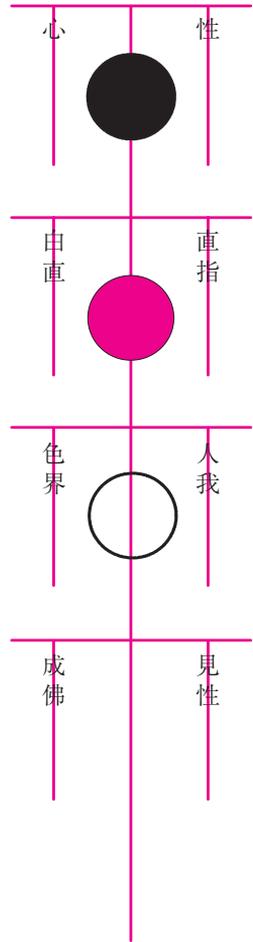
心者、直指ノ髓、教外別傳之一大事也。三世共_二不可得、不可得、不可得也。識得、知得、辨得、忘心也。不可得、不可得_力大乗之心也。不可得_カ當人也。當人_二無辨処也。

于時仁治元_辛五年三月三日 希元判_{アリ}

代々傳授如此也。可秘_{くく}。(29才)

(51) 永光一駒澤 0051 「宗門見性之大事」
「五十一」

宗門見性之大事、又直指人心之切紙也。
達磨大士云、直指人心、見性成佛

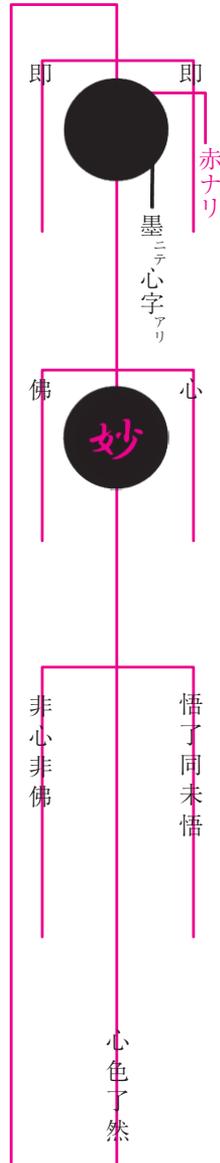


自昔日傳來如此者也。可秘々々。

(52) 永光一駒澤 0052 「即心即佛之大事」

〔五十二〕

即心即佛之大事

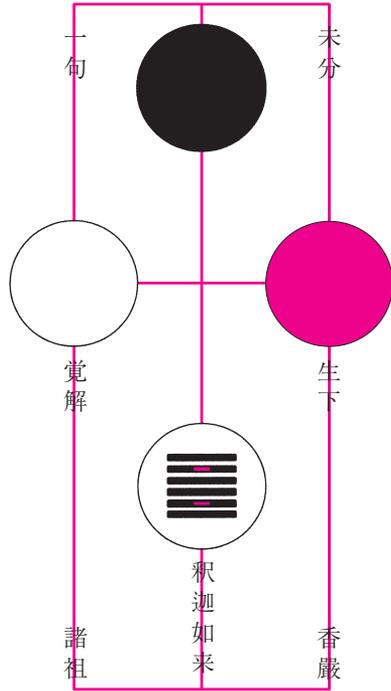


良曰、即心自然、其俛心、妄心、邪心、悪心、外也。即佛_モ同心也。本有天然、妙処ノ妙カ、本佛也。自然大虚即也。含_ニ藏_ノ大虚中_ニ一物ヲ云_ニ即心_{一ト}。一度悟了_ノ離却_{セバ}非心非佛也。

自_ニ昔日_一代々傳來如此者也。(29ウ)

(53) 永光一駒澤 0053 「擊竹悟道之大事」
 「五十三」

擊竹悟道之大事



嫡々相傳如此也。

良曰、徹ニ本分ニ未タ出ニ母胎ヲ、明レ道ニ一旬ヲ得、契ニ未生以前ニ故、香嚴ハ一代生下未分テ指シ透也。當脱躰現成也。四大脱落、

可秘々々。(30才)

(54) 永光一駒澤 0024 「大魔境之切紙」
〔五十四〕

大魔境之切紙 九峯虔禪師問レ僧、如何は大魔境。師曰、大極已前無^ニ此話^一。自拳^レ云、往来無相竄全躰。

此圖ハ、

心牛

佛^レ諸^ノ命根、万象種子^{ナリ}。

師資相承、根本相形。正中偏^{ナリ}。

万法

春夏秋冬、轉變自在事、

総^ニ法界事有^ニ此中^ニ。徧中正^{ナリ}。

万物

頭々物々上、大自在三昧、飲茶談笑、
行住坐臥。正中来^{ナリ}。

佛

釈迦牟尼佛・摩訶迦葉・阿難佛・達磨大師・永平・大乘・洞谷・師資
佛四十九年説法・十界中無量無邊事、
此^ニ約。兼中到。



此圓ハ無用



此圖

招宝七即^(郎カ)、拳^ノ手^ヲ仰面、大虚^{サツ}膠眼、
自目一致、是魔境^{ナリ}。

号^レ大^ト本有天然妙位、諸佛頂上、
衆生本源也。兼中到^{ナリ}。



此切紙別而宗門之大妄也。佛界ト、法界上、無量事不レ殘事也。八万之諸聖教等也。修行地也。魔界トハ曾テ佛法、無キ沙汰一処也。濟家之至極位、洞上之中途、兼中至也。大魔境トハ佛魔共ニ不レ立セ處也。宗門之(30ウ)頂上也。諸佛之護持、一法大極已前、無極有ニ妙位ニモ。雖レ然リト已前妙法ハ、不レ有ニ談論之法ニ、諸佛出世、為ニ轉ニスルヲ法輪云ニ話頭公案ト也。故云、大極已前ニ無ニ此話一。無ニ此話一処、大極已前無極ノ處、大魔ノ境也。根本ハ総ニ無相也。故ニ往來共ニ無形也。無形カ根本之正鉢也。同ク參、先佛界ヲ。拳、柳緑リ花紅。魔界ヲ。拳、大虚ヲ膠眼ノ云、外ガ外ヤラ。大魔境ヲ。拳、言スルニ無レシ言。武帝、達磨、趙ヌ之無、大魔境、類則也。

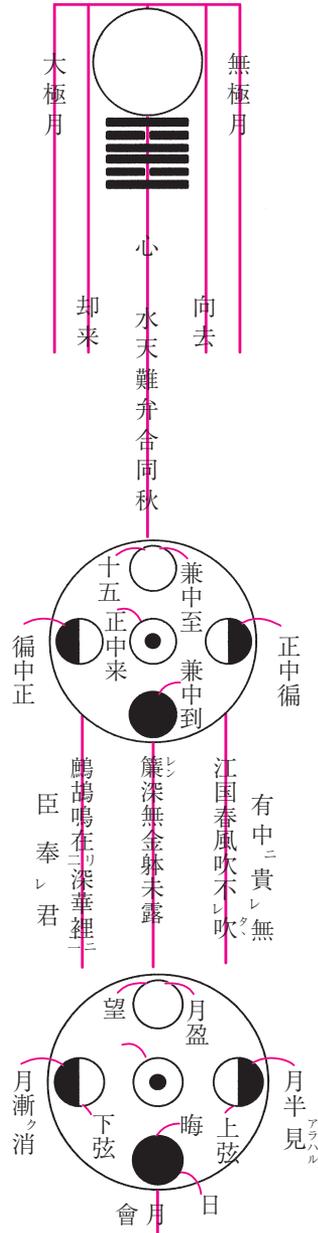
皆建長三年六月十二日

永平希元御在判

(55) 永光一駒澤 0055 「證淨訓訣」
〔五十五〕

證淨訓訣 天童山如淨禪師曰、佛法者、秘ソ非レ秘、只ツ為レ令レ書サレ功ヲ也。曰、既ニ是ニ一大事因縁、為ニ甚麼一落ニ糞土ニ。元答曰、是一大事因縁如何放身セシ。淨和尚曰、如是々々。抛筆云、傍參輩、三年而可ニ始テ得。是則宗門之秘訣也。頂上ノ一句子也。若シ是謾ニ流希ハ、即眉鬚墮落セシ。同ク參禪、證淨訓訣ヲ拳ス。(31オ)内不レ住ニ根本ニ、外不レ涉ニ諸縁ニ。夫レナラバ、何セ糞土ニ落チタゾ。拳、落テ不淨ニ伴ハヌ一物テ候。證拋ヲ拳セ。代曰、火煨ヲ水ニ不レ讓、水冷ヲ火ニ屬シ候ヌ。良曰、人々具足、一佛心事也。隨ニ境界ニ亦タ不レ落ニ化相ニ也。時キ根本俣テ清淨也。嫡々相傳如此也。可秘々々。

(56) 永光一駒澤0056「月兩火箇大事」
「五十六」
月兩個大事



事林廣記^三有月之事今畧^レ之ヲ。

涅槃經^二曰、月中^二有^二黒衣ノ童子十五人・白衣ノ童子十五人、朔日ノ夜、白衣ノ童子入^二月宮^一、二日夜二人、三日夜三人、次第^二一人宛入、十五日十五人、皆入^レ故^二満月也。十六日^{ヨリ}、白衣童子一人宛欠^レ也。黒衣童子又^タ入^レ故^二無月^一ナリ云々。(31ウ) 曹洞宗^テ、離^ル偏正・明暗・凡聖・生死、祖師^ノ遺行^ノ蜜用^ノ本分^ノ的位^ト云也。無^キ形云^レ正也。有^ル象云^レ偏也。無^中主^正中偏^ト云也。法界^ニ有^ル主、偏中正^ト云也。萬一般^ニ収^ル兼中^到云也。萬^ツ混兼中^到云也。淨和尚之曰、晦朝和^ニ合^ソ日月^一、亦自^二二日一月隨^テ日右^一行^テ、去^サ二日光氣^ヲ、到^二八日一月離^レ日^一圓滿^ニノ白月也。日ハ圓黒也。全黒^ノ処^ヲ指^レ日^ト也。到^二二十六日^ニ、亦^タ月與^レ日通^ス氣^ヲ。自^二二十七日一月隨^テ日左^一行^テ、日去^サ二月ノ光氣^ヲ、到^二二十三日^ニ、月失^ニ半明^一故^二下弦^ト云也。二十三日云^二下弦^ト。此時^キ月左^リ白^ク、日右^ニ黒也。八日ノ如^レ月、到^二晦日^一、日^ト與^レ月會^合、一圓無差別也。此云^二

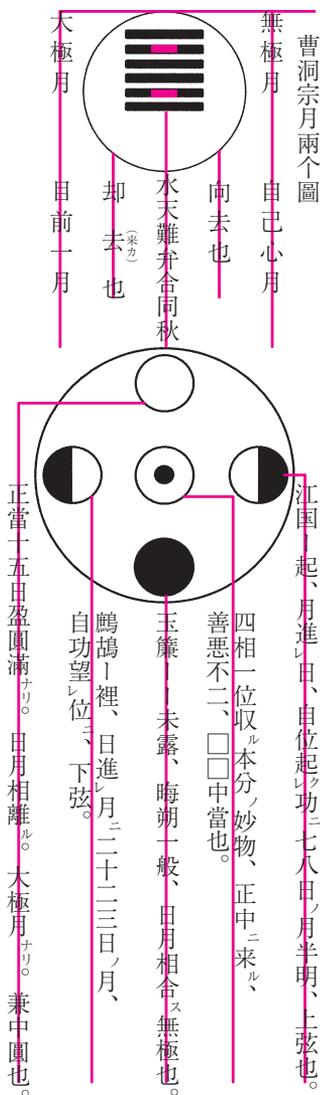
極暗極一也。不レバ可二分明一ナラ、不レ可二曹洞ノ智識一タル。月圓欠、徧正五位、君臣明暗、濶行蜜用之大事也。無始終ノ正ヲ爲シ君臣ト、有象徧爲ニ臣位ト。無形心漏用云ニ正中徧ト。本分ヲ望云ニ徧中正ト也。父母蜜會、正中来也。功位一般、兼(32才)中到也。君臣合道、徧正不二、兼中到也。向去、天然妙位ニ到得テ、無形ノ本主ニ相見スルハ向也。妙主趣向ノ本位ニ不レ着セ去也。却来ハ一度本位ニ徹證シテ、亦未悟、愚ト成ルカ却也。雖レ然一度ヒ脱ニ生死ヲ二度不レ着セ来也。来キアラハル。月兩箇トハ、自己身ノ心月ト、目前天邊ノ月ト、無爲有爲陰陽之二月也。

良曰、水ハ地ナリ。天地一圓也。秋キハ兼中圓ナリ。一圓ナレバ無差別ナリ。故ニ辨シ難シト也。有ニ玉簾内ニ故ヘニ全躰不レ露也。衣袋ノ内ナリ。江国四縁境也。春風ハ氣息陽風也。起ハ外道ヘ漏サル也。鷓鴣ノ南煨ニ栖鳥ナリ。我国ノ主ニ比スル也。啼クトハ、氣息声音ノ顯ル、義ナリ。譬ヘバ今出胎ノ孩兒、出テ、未タ今時ノ塵ニ不レ染、故ニ有ニ深華裡ト也。総ニ盡ク大虚ノ一圓中ニ居スル義也。故ニ此ク云。嫡々相傳如此者也。

可秘々々。(32ウ)

(57) 永光一駒澤 0057 「曹洞宗月兩個圖」

曹洞宗月兩個圖



良曰、此切紙有^ニ事林廣記^ニ。晦朔弦望^ノ圖^ヲ其俣^ニ書シ^レ処也。重離卦^ハ、陰陽交合、正徧兼帶、功位一般也。此中^ニ含^レム妙^ヲ、是^レヲ云フ^ニ心月^トナリ。不見^ニ目前^一而照^ニ破^{スル}無明^ノ極暗^ヲ也。心月^ハ根本無^ニ圓欠^一、因^テ境迷悟^ニ在^ニ圓欠^一、在^ニ出沒^一、是^ヲ無^レ為^ノ月^ト云也。亦有^為ノ月^モ同也。有相^ノ月^ハ圓欠^ハ男女^ノ交會也。上弦^ノ月^ハ殘^ル、愛欲忘念迷雲漸^ク晴行^ク処也。晴除^了レハ、十五正當心地明白也。是^ニ清淨^ノ心地^ト云フ也。互^ニ望^ノ執着^無ク、ノゾミ満足^ノ処。下弦^ハ亦忘念起^ル処ナリ。次第^ニ增長、晦日^ニハ日月^一重^カナリ(33才)合也。是男女交合^ノ之^レ処也。

可秘々々

弘安五^壬二月十六日 義介判

(58) 永光一駒澤 0058 「本無之大事」
 「五十八」

本無之大事

人々具足个个圓成

本無妙



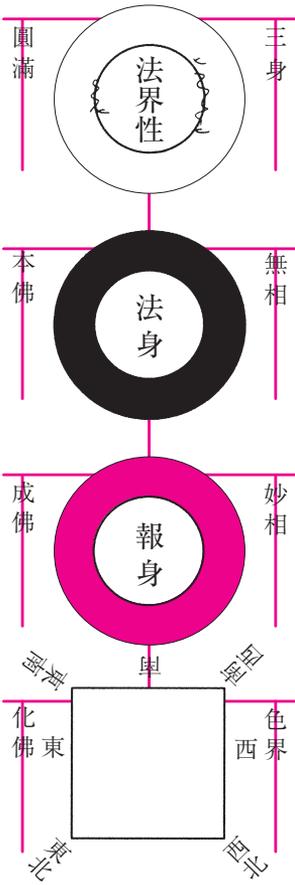
代々相傳如此也。

諸佛根源、本不生不
 可得ノ阿字。本無者
 毘盧ノ師報應主也。
 衆生命根也。

(59) 永光一駒澤 0059 「三身之圖」
 「五十九」

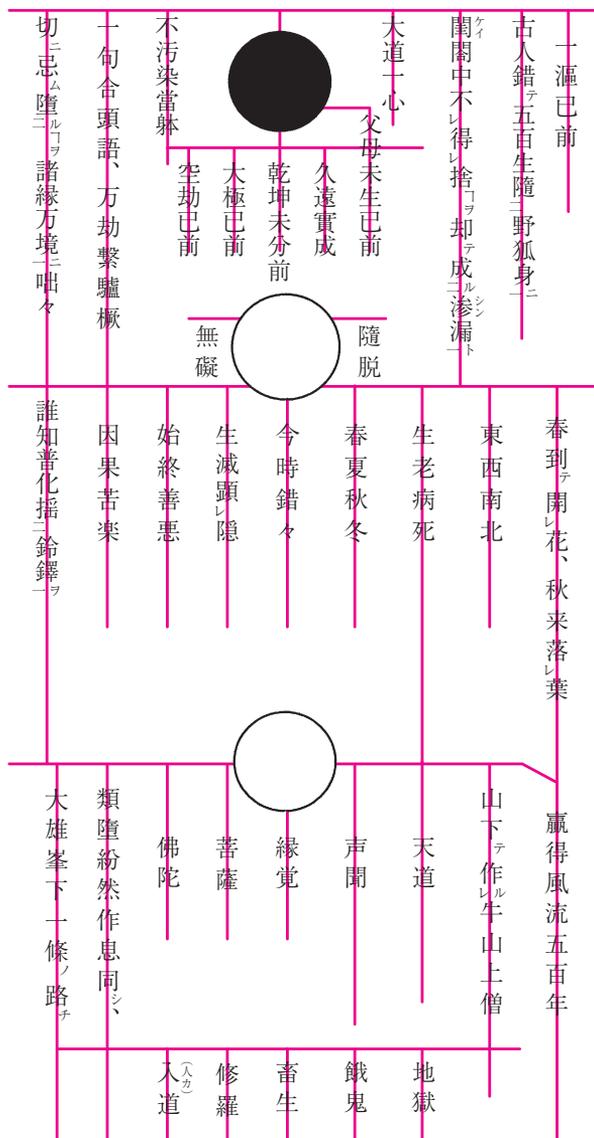
三身之圖 本性ハ三身共ニ具足ナリ。法身ハ諸佛根源ナリ。報身ハ諸聖師ナリ。化身ハ現在教主、應身モ同也。法身ハ具足ノ妙心也。

報身無并清淨心也。化身我相也。
 嫡々相承如此也。(33ウ)



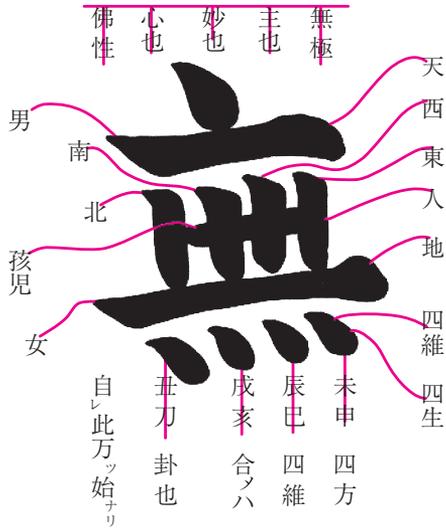
(60) 永光一駒澤0900「野狐話切紙」
「六十」野狐話切紙

大修行底人、落因果否。前百丈云、不落因果。後百丈云、不昧因果。為什麼脱野狐身。万般住着、野狐窟忘念離却野狐轉身。



惡^{ナリ}喜也。和氣同風雲同時是作一躡也。因^ト果^ハ如^ニ車輪^ノ、一切衆生悉有佛性^{ナリ}。嫡々相傳如此也。(34才)

(61) 永光一駒澤 0061 「趙又無大事」
 「六十一」



無者、人々具足佛性ナリ。内ニハ本心、外ニハ化形、法界無量之事、佛祖人畜、山川草木土石、盡皆一無変作也。卍字阿字同也。
 不レ可ニ餘一毛一モ、皆此無之全身也。
 代々相傳如此也。可秘々々。

林下曹洞宗における相伝史料研究序説(六)(飯塚・土屋)

(62) 永光一駒澤0062「那時三人圖」
「六十二」

那時三人圖

三人共ニ無差別、本一身ナリ。真人、無形、
幻人、空化身、本来人、柳緑花紅。

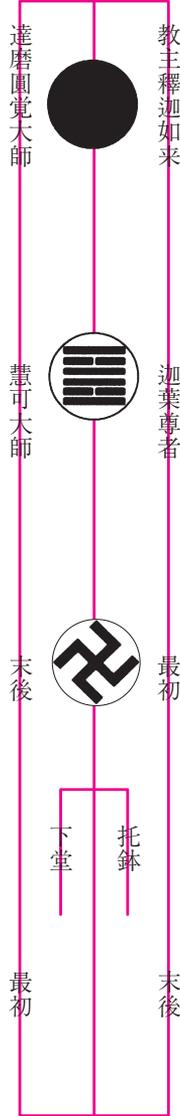
八句ニ小書アレト
三人少シキ不_二首
尾_一故_レ除_レ之。



(63) 永光一駒澤 0063 「托鉢下堂話」

〔六十三〕

托鉢下堂ノ話 識ニ得最初句ヲ、會ニ末後之句ヲ。末後與最初ト、不ニ是个一句ニ。

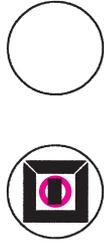


三世不可得、似^{タリ}這個^{ケレ}唯傀儡兒^ニ。

自前代相傳如此也。

(64) 永光一駒澤 0064 「最初末後之圖」

〔六十四〕



最初末後之圖是^レ鉢盂之圖也。鉢盂口向^レ天^ニ。雖^ニ常口^ヲ開、不知無辨也。雖^レ仰^ニ大地^一、如^レ不^レルカ知^ラ、天地合^メ生^ニ四支^一、合^メ不合也。〔良曰、外圓、法界ナリ、諸縁ナリ、万象ナリ、化境ナリ。中門ノ小圓ハ、法界ノ性ナリ。中ノ字ナリ。〕

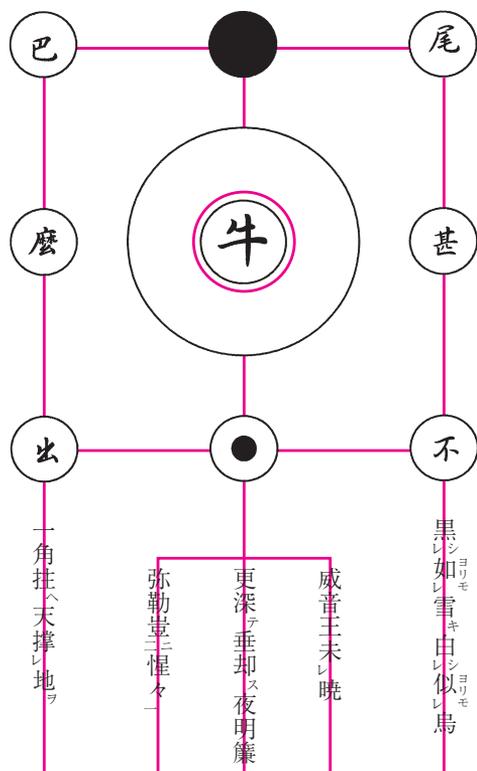
永平大禪佛云、家々門々透^ニ長安^ニ。洞谷和尚云、清白圓明。

明峯曰、入^テ幽玄底^ニ徹^ス。無涯曰、海枯砂歇^ク。我山曰、一言盡十方。壺

庵曰、一字不說。珠岩曰、本來空。

代々傳來如此也。可秘々々。(35才)

(65) 永光一駒澤 0065 「牛窓櫺之切紙」



黒シ如レ雪キ由シ似レ馬

良曰、外圓ハ万境化相、

中間ノ一牛ハ一物也。左右、

六圓ハ表ス六根ヲ。一物

當着ハ、譬ハ牛如レ過

窓櫺一、腦後テ一見

重テ不見、没蹤跡

也。六根ニ住着ノ尾

巴残真一牛ヲ

看藏也。

永平希元大禪佛云、舒光照ス萬機ヲ。洞谷和尚曰、嘘一声。明峯云、目前真大道。同云、能々可ニ護持ス。則是佛未ニ出世セ、祖師未ニ西来セ以前ニ差破ノ心性也。大虚充塞、元来不動也。峩山云、千聖モ亦タ不識。永光十二世大源云、咄、此性難レ出。大初云、看時不レ見暗昏々。又云、也太奇々々。自ニ昔日ニ傳轉来、可レ秘々々。

〔貼紙〕

栴樹林大乘月舟古佛流傳之一紙

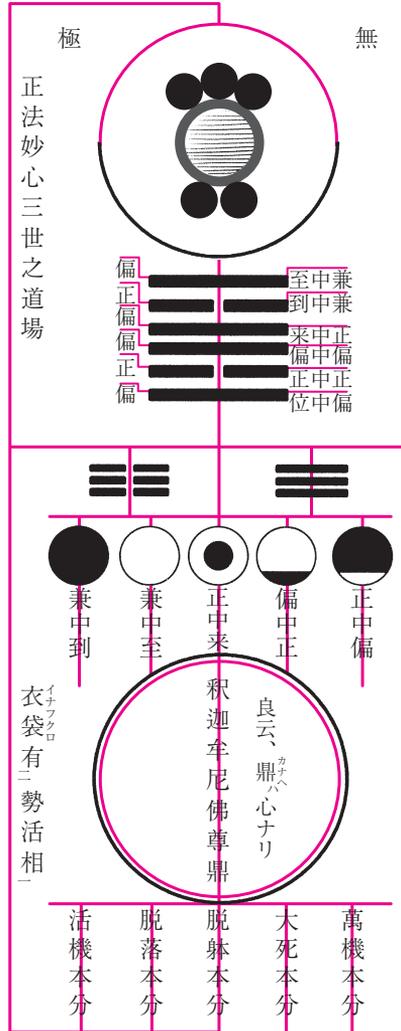
牛過窓櫺貴裡紙

阿難七夢經曰、訖栗枳王夢ニ、一大象閉在室中ニ、唯有ニ窓櫺ノミ。象於ニ室內一_レ出ニ得大身ヲ、猶関ニ小尾ヲ。表_レ釋迦弟子捨_レテ世業_一出家如ニ擲_レ身出一_レ。貪名利如関ニ小尾一_レ。五祖演曰、譬如ニ水牯牛過ニ窓櫺一_レ。頭角四蹄都過了、因ニ甚麼尾巴過不_レ得。經云ニ大象ト。今作ニ水牯牛ニ、借_レ物頭_レ法、於_レ理無_レ妨。禪者舌頭ニ無_レ骨、呼_レ彼為_レ此、常途ノ手段也。五祖演拈來為_レ人活弄。与ニ經ノ所說、理亦不_レ全同一也。如何是水牯牛。黑如_レ雪白_レ如_レ烏。如何是一空之窓櫺。舒光照万機。頭角四蹄都過了、因ニ甚麼一尾巴過不_レ得。劫火洞然毫末_レ尽、青山依_レ旧白雲中。又甘爪徹_レ蒂甘ク、苦爪連_レ根苦。

(66) 永光一駒澤0096「樹上之切紙」
「六十六」「天童山景德禪寺樹上之切紙」
生下未分樹下難シ

露樹

天童山景德禪寺樹上之切紙



天童大和尚授^玉傳^道元^二。永平授^二懷奘^二、々附^ス義介^一、介授^レ吾^二。
仁治元年^庚三月廿八日永平書畢^ス。喜元^三己^二祀三月五日

授附^二明峯^一老^ニ

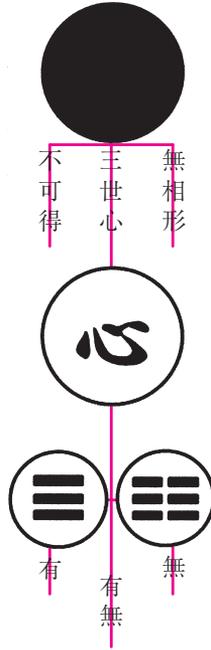
洞谷紹瑾御判

峯曰、是洞上龜鑑也。唯是人天之迷盲也。末世兒孫、可^レ難^レ明、即納^ニ珍金^ニ。大慧老、臨^レ濟下ノ龍鳳^ニ而胸中有^三三百活馬^一。駟^一蓋^シ未^レ明^ニ(36才)洞上ノ五位^ヲ、不^レ稟^ニ曹洞ノ蜜旨^一、洞山云、更夜中^ニ、子第入室^メ、有^ニ正傳^一者也。是吾^カ一派稱^ニ秘訣^一者也。蜜傳有^レ之。始終訓訣。

良曰、雖^レ有^三諸切紙^一多^ク、樹上ノ話、擊竹悟道ノ正當^ヲ再拏也。故^ニ此切紙難^ニ點頭^シ也。無^極ハ、未生已前ノ已前也。頂上ノ圖ハ、

外圓、母胎也。内圓、孩兒、宿胎之正形也。是樹上當人、生下未分ト云フ也。樹枝ヲ含ムトハ、乳房ノ事也。手脚未レ用故ニ、不攀不踏也。次ノ重離ノ卦ハ、万ヲ兼帶也。五形圓備ノ相也。次ノ乾坤ノ二卦、生死・善惡・寒燠ノ根本也。是レヲ露樹云也。次ニ五位之圖ハ、五根・五相・五色也。次ノ圖ハ、衣袋ノ活相、釋迦ハ胎中ノ孩兒、閻閻中ノ一物、久遠根本釋迦也。勢活トハ、生下氣勢也。是未レ出ニ母胎ヲ處、一句ト云フ也。尊鼎トハ、尊心云フ意也。次キハ胎中ニ居ル何何方ノ誰也。今産ル、ヨト分明ニ覺在ル處方機也。生下ノ當頭萬忘ヌは大死也。生下ノ受ニ法界ノ風ヲ、強痛一句呼、此脱躰也。無辨ノ形骸ヲモスル處、脱落也。自レ是活機自在也。擊竹話ト不ニ兩般ナラ。細蜜心有ニ般多、難レ尽レ書。寛永五戊辰二月吉日。(36ウ)

(67) 永光一駒澤 0067 「樹上之切紙」
 「六十七」
 樹上之切紙



代々相傳如此也。

「*以下の文、図の下部にあり」
 良曰、是一透切紙、當則者諸門徒骨髓、明峯派ノ赤衾、最モ一大事也。
 宅良派、快庵派ノ唱へ、言バ替レ任、畢竟ノ未分カ正躰也。脱躰ノ説、尚ヲ親切也。此切紙モ右ト同意也。圖正躰也。能ク付レ氣ヲ。

(68) 永光一駒澤0008「身心脱落之切紙」
〔六十八〕

身心脱落之切紙 二代云 永平門下ニ有リ三脱落ノ話一。蓋シ是開山大和尚在ニリシ天童ニ時ノ悟處也。

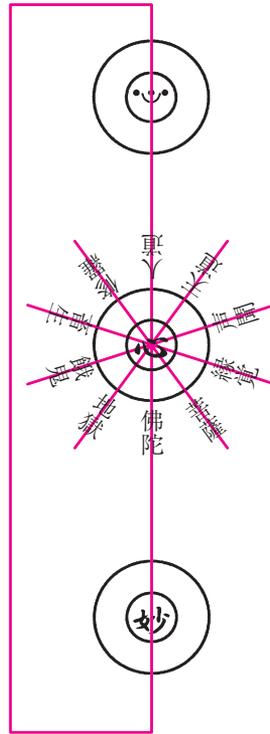
●如何是身心脱落處。◎如何是脱落身心處。●如何是脱落ニ處。

此三句ハ只是一句也。一句ヲモ亦タ可レ參ス無ト。尚不レ獲レ已^ヘ「ヲ」マ、某甲註破シ了ル也。取^{所也}レ謂フ脱トハ、徧テ云ニ凡身一。落ハ正黒、聖心ノ處、半白半黒也。謂フ之ヲ轉凡入聖ノ一句ト。不レ可下無ニバ如レ是ノ分一、大休大歇シ去^上ル也。次、脱ハ、聖身外邊ノ白ナリ。落ハ本心ナリ。中間ノ黒處、外邊白、中間黒也。謂フ之ヲ轉功就^レ位^ニ一句ト。不レ可下無ニバ恁魔ニ會取^一分一、深ク透リ深ク徹シ去也。上下内外、全ク分ツ黒庭處^{底カ}ヲ、脱落ハ、(37才) 烏鷲豈^ア漆桶^{キム}サ^ラ乎。離^ニ四句^一絶^ニ百非^一、直下無^ニ第二^一人。●◎●不レ同^ニ五位^一君臣之圈兒^ニ、聽^キ奇^キ分^一和合^ス、私ノ黒處也。不レ可レ備^レ本^ヲ。洞家玄奧宗旨髓也。恐クハ属^ニ流布^一、滅^ニ却^一吾宗^ヲ、可秘^ニ。奇^ヘソムク、アヤシ、タマサカ、アヤシム、アヤシク、カクツカク)

皆正喜元^丁巳祀正月廿六日 懷葬在判

(69) 永光一駒澤0069「一心十界」
「六十九」

一心十界。又、十界一如。又、一心三觀。



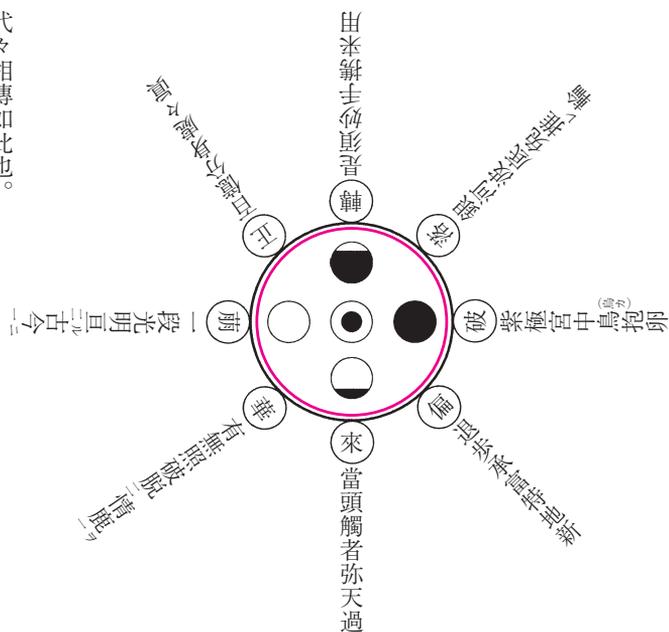
良曰、心三點、則三三九界ナリ。
横鈎ハ、佛界也。故一界ト云
也。自ニ無極無形ノ根源、分ニ十
界ト亦タ納ルニ無位ノ根源無相ノ本
心ニ也。是ヲ十界一如トモ云ヒ、成
佛トモ云也。妙者一瀚ノ先也。無
物ノ根本也。十界一心無差別妙
位也。黒圓ハ、萬ツ一位収テ泯
絶也。

十界本無レ隔、即今無差別之妙位也。赤圓ハ、十界露レテ、平等ナル圓形也。三ツ圖ハ、正位・偏位兼帶位也。法界ノ萬ハ、皆ナ心ヨリ起ル。心ハ、万法ノ根源也。

皆元徳二庚午五月廿六日 大乘三代住洞谷素哲判(37ウ)

(70) 永光一駒澤0070「一文大光錢切紙」
「七十」

一文大光錢切紙



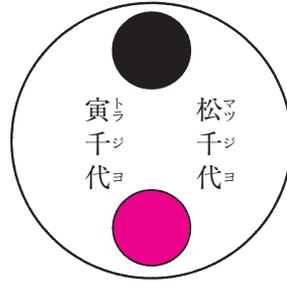
代々相傳如此也。

雲門ニ僧問フ、如何是曹洞宗。雲門云ク、一文大光錢。曹洞妙蜜ノ家ヲ問ナリ也。雲門大師以ニ一文錢ヲ、曹洞ノ五位ヲ分明ニ答話有也。大光ハ、年号也。大光年中ニ鑄タル錢也。有ニ表裡、表テハ文彩四字、即偏也。裡ハ無文、正位也。一文ノ中ニ百千万億含ム無量ノ妙一也。曹山八圈ノ兒ニ、同ク五位、宏智和上八句、皆有ニ重々妙密子也。●錢ノ裡、陰也、正也、地也。○錢ノ表、陽也、天也。中間ノ穴ハ諸佛出身ノ一路也。經中謂ニ之ヲ蓮華宝蓋ト也。重々有ニ意旨、尺難ニ書尽シ。(38才)

(71) 永光一駒澤 0071 「白紙之大事」

「七十一」

白紙之大事



從前々傳來如此他。(38ウ)

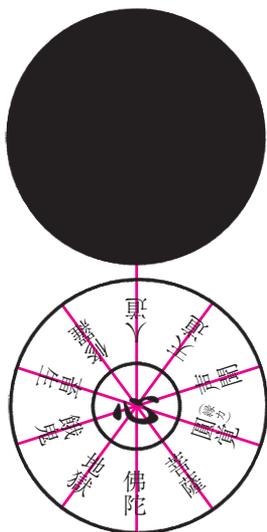
良曰、白色トハ、根本白色、本性本躰也。故ニ即今ノ白色、白直、無形無名ノ根體也。一代一代テ改ル切紙也。師字ト、資ノ字ト書也。受衣受戒ノ名ハ假名ナリ、著色也。悟リ了レハ本愚人也。到ニ不會禪ニ、即今ヨリノ白衣ノ凡人也。是レヲ白紙ト云フ也。著色ノ分、脱果テ、本ノ白木ナリ。釋迦大師モ達磨大師モ根本白地ノ凡人ト成給フ也。是レヲ如ノ當體ト云也。即今ノ得レルヲ如ト作リ、即本有清淨ノ如来ト云也。亦黒圖ハ無極、赤圖ハ大極、是根本之即躰也。其佗ノ正躰也。是レ白紙ト云也。即今無辨無文、無字也。是レ宗門之。至極也。別而一大事也。

(72) 永光一駒澤 0072 「一返消災呪之切紙」

「七十二」

壹返消災呪之切紙

消災妙吉祥神咒



嫡々傳來如此也

佛說消災吉祥陀羅尼

此咒消滅諸惡災難、諸事願望、令

万足吉祥、大安樂神咒ナリ

一返^ハ平等^ノ義ナリ。善惡無^ク差^ノ大咒也。諸仏真實真言也。

曩謨三滿多^ハ、過去現在未來之諸佛也。母馱喃、

清淨法身毘盧舍那佛^{ナリ}、名号也。阿鉢底^ハ、盧

遮那佛眷屬也。賀多舍^ハ、不動同眷屬也、娑囊

喃、本師釋迦文佛也、怛姪他唵、聞^テ一切鬼神此唵、

字^ヲ、悉^ク合掌而受^ル佛^ノ言^ヲ、佉々、文殊菩薩同眷屬也。

佉^々、普賢菩薩同眷屬也。吽吽、降九曜二十

八宿也。諸佛來迎^ス。入嚩羅^々、大通智勝佛同^ク

眷屬也。嚩羅入嚩羅^{々々}一切香華自在佛同

眷屬也。亦一切光佛共^ニ、底瑟淮^{々々}、弥勒菩薩同

眷屬也。瑟致哩^{々々}、八万四千金剛名号也。娑發

吒^{々々}、金剛菩薩同眷屬。室哩曳、妙吉祥菩薩名号、娑婆訶、

熾盛光佛本尊ノ名号ナリ。本仏性本心妙主ナリ。

(73) 永光一駒澤 0073 「曹洞機」
「七十三」

無縁 宗門之大事 善智識骨髓也。

曹洞機



天曉不露
夜半正明

皆永仁二甲午三月廿一日 大乘徹通介御在判
正和三甲寅正月十六日 洞谷瑩山 御在判 (39ウ)

林下曹洞宗における相伝史料研究序説(六) (飯塚・土屋)

(74) 永光一駒澤 0074 「曹洞機」
〔七十四〕

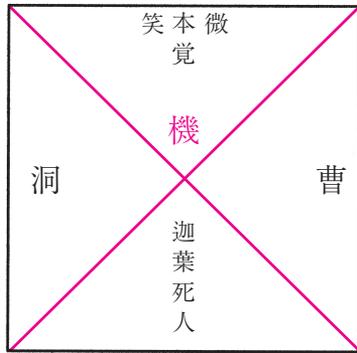
龕也 心月也
椁也
樓閣千家月
火屋 本心

葬送場 安宿地
江湖萬里秋
從引 生至死路頭

無濕氣 貴賤無差別
蘆華無異色
身新死スレバ肉身新ナリ

根本不會、白直 生死出離場ナリ
白馬下汀洲
沒蹤跡也 汀洲ハ岳、沖ト
ノ中間ナリ

不落ニ生死ニ。

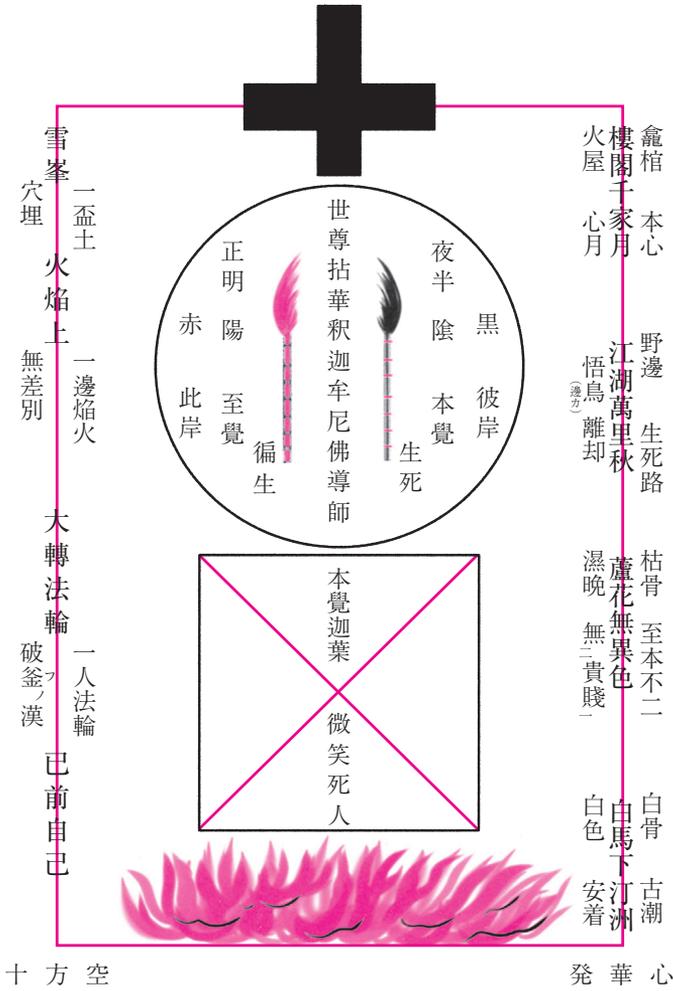


皆正應五_手申初秋二十八日
嘉元二甲辰九月十三日

徹通介御在判
蛭山紹瑾御在判 (40才)

(75) 永光一駒澤 0075 「曹洞之大事炬切紙」
 「七十五」

曹洞之大夏炬切紙



林下曹洞宗における相伝史料研究序説 (六) (飯塚・土屋)

(77) 永光一駒澤 0077 「曹洞機切紙口傳」(仮称)

「七十七」

切紙口傳 天曉不露、夜半正明、曉天カトスレバ不露トハ、マタ夜明、夜半カトスレバ正明ト、早ヤ明白ト作タト云ハ、受テ肉身^一、此身現在^ハ出露シタカ、天曉不露、根本ノ俣^テ、久遠ヲ離レヌ^ヌ、元ノ佛性ナリ。死シタカ、夜半^ニ正明、本心^ハ死ナヌ時、全ク生死^ニ墮セヌ^ヌ又^ヌ也。偏正生死^ニ渡ラン^ニ時キ、不犯^シ妙^{ナリ}、本佛也。亦曹洞ノ機^ハ、一烈機ヲ犯カサヌ事也。機トハ、本心也。樓閣トハ、殿斗リ云テ、主人ヲ犯カサヌコト也。千家ト云テ、真殿ヲ犯サヌコト也。月ト云テ、無月ノ天ヲ犯サズ、(41ウ)江湖ト云テ、本源ヲ犯サヌ、萬里ト云テ、本處ヲ犯サズ、秋ト云テ、冬ヲ犯サズ、蘆華ト云テ、深處ヲ犯サズ、無^ニ異色^一云テ、本色ヲ犯サズ、白鳥ト云テ、黒処ヲ犯サズ、白鳥ト云テ、黒処ヲ犯サズ、汀洲ト云テ、深淵ヲ犯サヌ事也。畢竟^ハ、曹洞不盡ノ機ト、新亡不死ノ本心ト一意ナリ。時自正覺也。亦樓閣ノ棺、千家ハ八萬四千煩惱城、月トハ本心、江湖トハ野邊、万里ハ無量事、秋ハ此身納所、蘆華ハ濕氣ノ無^イ死人ノ身、無^ニ異色^一、貴賤共焰^{ケムリ}ノ色同シ、白鳥ハ白骨、汀洲ハ、此岸・彼岸ノ中間也。下ルトハ、落着也。雪峯ハ消安此身^{キヨメテ}、雪、高上^ニ納テ穴^ニ埋メタモ、不盃土也。土中^ニ埋ツム斗リ、空^ニ墮スル也。故^ニ火焰上ハ、沈マヌ^一機也。一切衆生、悉有佛性也。高下無差別ノ心也。大法輪ヲ轉ストハ、死^ニ在^ル活也。轉処作廢生。良久ノ曰ク、ヨツ。不滅ノ心共^ニ無^キ也。釜^ハ執着也。破^レ釜ノ漢トハ、萬ヲ離却^メ、少^シモ繫念ナシ。時^キ、已前ノ本有ノ自己也。拈華話、正躰也。可秘々々。(42オ)

(78) 永光一駒澤0078「下炬之大事」
「七十八」

下炬之大事

先東西無辨、業悪愚凡ノ死漢ヲ請ケ取リテ、自具足ノ佛性ヲ不失、亦不死ノ本心ヲ不滅、生々世々持ツ處ノ人身ヲ不捨様、弔事、智識ノ一大支ナリ。一切衆生化形ハ死スレト、本心不滅也。併、導師因テ修行ノ善悪ニ、化相諸供ニ本心ヲ照ス事、即今、嘆、敷事也。依テ弔様一、不佛ニ成一人身ヲ捨テバ、必異形ノ畜生道ニ生セシメテ、事決定分明也。必具足ノ心ヲ不捨、人人持處ノ心火ハ、生々世々ニ不消ヘ也。人死スレバ、心火収故ニ、死人ノ火ハ、宿火也。宿火トハ、埋火ノ事也。雖有ニ實心ノ本火自然具一、無レバ燒仁、己下無シ燃ル。雖有ニ金石木ニ自火一、不鑽キ出サ、不心火出生セ。雖有レ火、不レ燒カ。無レ爲ルコト焰ト。導師ノ火ハ、色火也、生火也。色トハ、境界ノ事也。二本ノ炬ハ、導師ノ火ト、死人ノ火也。導師、自ニ喪司一炬ヲ請取所口、有ニ大支。請取テ脇挾ニ、冥目ノ蜜ニ四句ノ偈ヲ唱フ。然ソ而、眼ヲ發開ソ、急度虚空ヲ睜眼ソ、打ニ一圓相一。一圓ハ、心字ト卍字ガ、正鉢也。(42ウ)十界共ニ有ニ此圓中ニ。寂光土、便チ去此不遠也。死亡ヲ急度喚ビ起シテ不死ノ本鉢、即心即佛、令メテ正鉢ニ安着セ、法語ヲ唱ル也。唱レテ一喝ソ而炬ヲ拋處口、生死透脱、根本佛身ノ當鉢也。自ニ即今一、一切衆生無レ死。隨テ化縁ニ生レテ、化形盡クレバ、隱クル也。化縁盡クレバ、雖レ離ニ化相一、不滅ニ本心ハ、導師唯、心火ノ不レ生滅ニ、本心ノ不レ死様ニ、即身即佛ト引導スベキ也。下炬ハ、炬ヲ下タスト云字也。法界ノ化形、忘火ハ、薪尽火滅シテ而無レ跡、本分ノ心火ハ、生々ニ世々ニ不レ滅様ニ可レ弔也。○亦三界ノ大教主釋迦如来ノ金棺ヲ、七萬諸大羅漢欲ルニ燒ント、法界ノ忘火、不レ燒ニ身ヲ佛。自金棺鳩尸那城ヲ遶ルコト七匝、時ニ迦葉ノ大聖宝棺如来、胸中三昧ノ火ト言ヘバ、隨レ声ニ自ニ棺中一出生ヘテ、自ニ二十三日一晦日迄、漸々ニ焚ヌル也。是ニ證據也。人人持處ノ心火ト、佛火ト一般也。不レ可有ニ二火一。此時迦葉ノ言ハ、則下炬也。今世ノ法語也。宗門ノ秘傳也。于時寛永九壬申載初秋吉冀(43才)

(79) 永光一駒澤 0079 「下炬之因縁」

「七十九」

下炬因縁 周昭王四十二年二月八日、悉達太子、十九歲遊觀^ス四門^ヲ。有^リ心^ニ悲泣^{スル}、生^シ發心^ノ愚道思^ヲ、入^テ檀特山^ニ修道^ヲ、臘八曉天、明星出現^ス。成等正覺^ニ發心^ノ火^ヲ。炬者、此心火也。發^ニ心^ノ火^ヲ、為^ニ大光明^ト、三界迷妄、破^ル業惡衆生^ノ昏暗^ヲ、到^ニ菩薩^ニ道^ニ。然則、釋尊^ノ佛心^ト、衆生^ノ忘心^ト一般^ニ無差別也。新亡^ニ轉^ニ重罪惡徳邪心^ヲ、本有清淨^ノ佛心^ヲ露見^{スル}也。三ツ具足一句、先燈燭一句云、一段光明^ニ亘^ル古今^ニ。香爐^ニ一句、三世諸佛向^ニ火焰^ニ轉^ニ大法輪^ヲ。華瓶^ノ一句、山花開似^レ錦^ニ。

(80) 永光一駒澤 0080 「炬之拈處之參」

「八十」

炬之拈處之參 師云、句ヲ。拳、尽十方法界、一圓ヲ妙鉢ヲ表シテ候。良曰、法身佛ノ妙相ヲ表スル也。○火ヲ。拳、人人具足ノ妙心テ候。○火ノ點シ様ヲ。拳、三界唯心。○夫レハ一片ノ火ナリ、何ト點シタゾ。拳、佛心ヲ點シ凡心^ニ、亦凡心ヲ點シ佛心^ニ候。良曰、是^レ火始終無^ニ消滅^一火也。○打^ニ一圓相^一様ヲ。拳、十界総^ニ此^ノ一心^ノ内^ニ収^メテ^ソ候。○子細^ニ。拳、凡心ヲ佛心ト成シテ候。又云、凡身、佛身。良曰、根本賢愚一般而、十(43ウ)界無差別也。悉佛性具足也。乍^レ去、凡人迷故、天地大隔タル也。○師云、着語ヲ。拳云、不^レ住^ニ内根本^ニ、外不^レ涉^ニ諸縁^ニ。又、昔不悟今不迷。亦、元迷悟無^ニ渠開^一カ。良云、即今大乘ノ真以^テ正眼^ヲ見^ハ、根本何レモ佛鉢也。皆具足ノ心其假本佛也。迷カ三惡趣也。炬ヲナケウツテ、一喝ノ端的、出離生死、迷悟透脱也。亦、内トハ、自己ナリ、諸佛本郷ナリ。從^ニ亦空着^ノ本源^一、得^テ時節^ヲ、現在^ハ出生スル也。時、根本ニモ不^レ住ナリ。是^ヲ不^レ死^ニ墮^ニ云フ也。外トハ、萬法也。諸縁トハ、萬ノ儀也。法界ノ諸縁ニ繫カレズ、萬法ノ化相^ニ着セズ、化相ヲ離ル也。時、往来無碍、生死脱出也。○畢境^ヲ。拳、海枯^レ砂歇^ク。良云、海トハ、新亡ノ雜念、罪業也。沙トハ、化縁化相也。枯歇^ク、強罪妄念共^ニ消滅^{ナリ}、化縁共^ニ脱出也。根本^ニ無^ニ罪業^一忘念^一。無量ノ事^ハ、有^ニ化縁^一化相^一。即今ハ、無苦無染^ニモ、清淨ノ真佛也。程^ニ、新亡^ヲ不^レ墮^ニ三惡趣^ニ、自佛身^ヲ其假^ニ佛^ニ作事^一、智識ノ一大事、於^ニ佛心宗^ニ、新亡三昧至極大事也。以上、炬切紙八通悉妙蜜秘傳也。(44才)

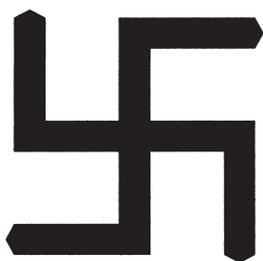
(81) 永光一駒澤 0081 「亡靈授戒貴裡紙」

〔八十一〕

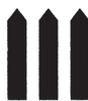
亡靈授戒貴裡紙

永平授戒傷
曹山録有之

自之亡靈教化ノ一透ナリ。



中峯和尚亡靈授戒偈曰、奉レ請三界六道能化衆生濟度ノ地藏菩薩摩訶薩、仰願降臨シ道場ニ授玉ヘ菩薩
清淨大戒ヲ、大慈大悲哀愍教化。南無歸依佛、南無歸依法、南無歸依僧、汝歸ニ依シテ三宝前ニ、発ニ露
セヨ大懺悔ヲ。三返。此分於ニ牌前ニ、静ニ可ニ三唱一。亦如是書ノ 附ニ與亡聖某居士・大姉ニ納ム。
希元禪師授戒ノ偈曰、但以ニ衆法ヲ、合ニ成此身ヲ、此身起時、唯ク法モ亦起ル。此身滅時、唯ク法モ亦滅、
此法起時、不レ言ニ我起ルト。此法滅時、不レ言ニ我滅ト。前念後念、念念不ニ相對一、前法後法、法法不ニ
相對一。如是書ノ於ニ靈前ニ一回向シテ、廟処ニ紙之也。亦牌前ニ名ヲ喚ンテ、如レ是三唱。亦教授師名判。
正授某禪門
大姉



如レ是書、沈淪ノ亡靈ニ授ルモ可ナリ。卍字ト同意ナリ。三身ナリ。阿弥陀ナリ。
水火風ノ三ツナリ。日月星ナリ、天地人ナリ、心ノ三点ナリ。三身圓滿佛身ナリ。

年号月日永平大禪佛御在判 心得多キ也。是レ別紙ナリ。()
合而此三冊
宗門大事秘書。(44ウ)

【参考史料(一)正法寺所蔵『佛祖嫡傳聖財之卷』】

正法寺—001

〜此衣表信

〜此一袈裟三世諸佛道場ナリ。衆生著二佛伽梨於鉢、則為二無相之福衣ト。然者、便有相之凡身、無相之心ナリ。迦葉尊者著二袈裟於鉢ニ、則萬象森羅ト與二人人ノ這裏、無二更ニ差。若有レ差、則有二生處一麼、有二死處一麼。山雲海月、表二肩上衣一也。慧能曰、此衣表レ信、豈レ可ニ以レ力爭一麼。不思善不思惡、正當與麼時、那箇是明上座本來ノ面目、本來衣也。〜五条五鉢、〜七条七識、〜九条九穴、〜四點衣、〜四鉢合而二十五之菩薩、相分而呈二四衣、四大分離、本身露現、恙々出身、以爰號瑞衣、真是成佛作祖、云云。

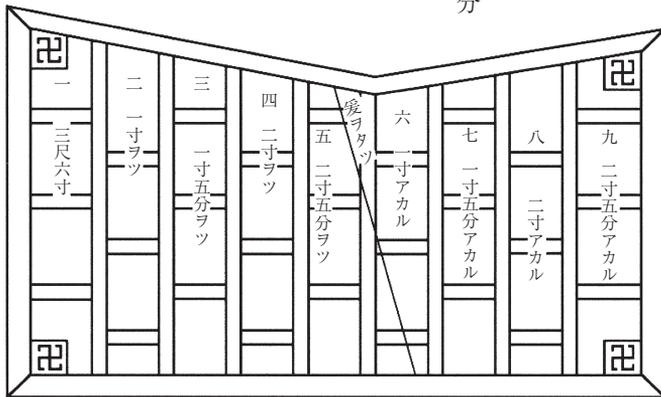
○坐具是般若

右以四天王護法、具法身性、一坐具、十方佛土中、唯一乘法、虚空無邊、四王諸佛迷爰、諸祖錯是於爰拜。達則不就佛、不就法、不就師、不就我、禮拜常如是、云云。
宋紹定元年九月一日天童如淨授道元

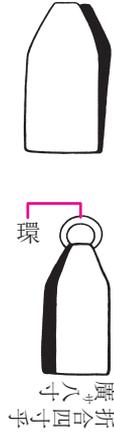
林下曹洞宗における相伝史料研究序説(六)(飯塚・土屋)

傳衣圖

四寸縁ノ廣サ
三寸也
号廣サ二寸五分



光背長サ一尺九寸 前背長サ一尺六寸折合ノ八寸也



八木田卍字者、八相三昧福田、米字、無始無終、大般涅槃境界也。披此ノ衣ヲ時、唯有一人獨尊佛ナリ。其ノ人ノ言句、一切皆ナ獅子吼ナリ也。

永平和尚傳 坐具文曰、

善哉尼師壇、諸佛所受用、願共一切衆、

常坐於其中。右此坐具者、三世諸佛之

金剛座也。登此座者、正坐于金剛座、三

惡四趣之怖畏無之。

へ五条衣者、表二五佛、顯二五智、二ノ中二五佛

住ニ在其ノ中ニ、故ニ此ノ袈裟者、離ニ五欲、斷五煩惱、得五神通、滿ニ五智徳、三世諸佛相傳ノ袈裟也。故ニ曰ニ行道衣ト、曰作務衣ト、一切時中用ニ此袈裟、故又曰ニ安陀會、此飄常住衣故、今日授へ七条衣者、表ニ七佛、顯ニ七菩提、七聖財、七等覺支、皆在ニ此中、是ヲ号ニ食衣、持ニ此袈裟衣ヲ者、法善禪悦之食、飽ニ滿心中ニ、故ニ外ニハ離ニ七遮罪、内ニハ得ニ七種善ヲ。此袈裟者、一二百三十五佛縫頭也。是三世諸佛相傳之袈裟也。故今授レ之。

故今授レ之。

へ九条衣者、三世諸佛之說法衣ナリ。上自二十五条、下至九条ニ、合ソ為ニ一衣ト。持ニ此袈裟者、上中下俱ニ九条ニ也。表ニ如来九識田備之智髻ヲ。此衣者、三百五十佛縫頭、持ニ此衣者、離ニ九界ノ妄心ヲ、到ニ究竟妙覺之果ニ、是三世諸佛解脫幢相之袈裟也。故今授レ之。

延文元年八月時正日在妙莊嚴院傳

之良韶 紹續判

へ夫受衣者、我宿ニ母鉢内ニ九月也。其ノ間ノ修理次第ヲ、謂ニ受衣作法ト、又謂ニ之受持衣ト也。

然ルニ袈裟者、我レ在「母ノ胎内ニ九月、其間ノ消息

次第露ル也。當ル三月ニ、謂ニ之ヲ葛麻ト、取レ之表ニ四糸ノ

坐具ト、五月ニ分テ一長一短五糸也。謂ニ之ヲ掛絡ト、七

月分テ兩長一短七糸也。謂ニ之ヲ飯衣ト、九月分テ

四長一短九糸也。謂ニ之ヲ大法衣ト、已上合シテ而

二十五糸也（四・五・七）。皆是寶心三昧ノ内ノ消息ナリ。

亦五大出入息（イキ・ククル）、柯（カ）縷（ラ）無明ノ凡夫ノ緒也。表レ之

為ニ法衣ニ筋ノ緒。環者是レ我此ノ一心法ノ正鉢也。夫レ

血脈トハ者、我此ノ一心法正鉢信受スルヲ、謂ニ正傳血脈ト、相

續レハ此ノ血脈ヲ、我此ノ寶心至三十二相ノ儀ニ、血脈正

傳之道場ナリ也。又上ニシテ下ニシテ上、背ニシテ背ヲ、搭ルニ袈

裟ト、此ノ一事無キ所ト云フ通義也。

正保四丁亥年表則下旬、於洞谷山前正

法良周和尚傳ニ授ス此ノ旨ヲ。

正法寺—002「鉢有切紙」（仮称）



地国天王

四天王獻四鉢

増長天王

形 迦 釋



相 住 無

一佛合作一鉢

多聞天王

廣目天王

○世尊一日勅レ阿難曰、食時將レ至シト、汝當ニ入レ城持ヨ鉢ヲ。阿難應諾ス。佛言、汝既持鉢ス、須レ依ニ過去

七佛之儀式ニ。阿難應諾ス。佛言持レ鉢去レ、云云。

右此應量器者、三世諸佛ノ持玉フ鉢也。是ニ有ニ七

林下曹洞宗における相伝史料研究序説(六)(飯塚・土屋)

種一、所謂金銀銅鍍瓦石木也。此七種合之為

一鉢一、傳迦葉二、持此鉢者、現世得福樂一、未來

不逢三三惡四種之飢難一、無上菩提成就、

飽三滿法喜禪悅之食三、故今授汝、々能

護持 現正法良北判

前正法二十四世辯大訥(朱印一顆)

付笑丹畢(朱印一顆)

正法寺—003「宗門拄杖子」

天之十一

宿九房尾斗女危壁婁昂躡井柳張軫乙丁癸辛巳曜月水
角氏心箕牛虛室奎胃畢參鬼星翼甲丙壬庚戊
七日火

孫杖此間一尺

八万四千號 七尺

鍍子

地之三六禽
蟬・蛆
馬・鹿
猫・麝
獾・猿
雉・烏
狼・豕
豕・豕
鼠・牛
蟹・龍
狸・虎
兔・魚
龍・九
魚・土
金・木

●宗門拄杖子 右起處喝羅ト云国ニ謂レ鍍歩ト

有二ノ虫・彼虫充ニ塞ス上有頂、下金輪水

際ニ、食ニ衆生ヲ恒河沙也。釈尊為レ救ニ衆生ヲ、化ニ

彼虫一為ニ弟子ト、摩頂ノ號レ拄杖ニ。爾ヨリ來タ傳來ノ、

降ニ伏外道一、化ニ度レ衆生ヲ、携ヘ這ノ拄杖ヲ來ル

故也、云云。或曰、天竺摩訶陀国謂レ牢ト

〔又惡〕有ニ惡虫一、長ケ七尺五寸、常ニ食ニ獅子象ヲ、

經レ千歲、後其ノ名謂ニ祖師ト。一日ニ飛行ノ一萬

里ヲ歸ル。彼ノ虫行ク處、動ニ天地ヲ、崩シ山嶽一、枯シ

草木ヲ、渴ニ大海ヲ、喪ニ群類ヲ。天竺ニハ、日ニ月輪ト、

震旦ニ曰ニ塞律一、本朝ニ曰ニ山形一、佛曰ニ之ヲ錫

杖ト、名ニ祖師ト、禪ニ謂ニ之ヲ拄杖ト、真言ニ謂ニ之ヲ散

杖ト、鬼神ハ謂ニ之ヲ死活杖ト、武家ニハ謂ニ之ヲ兵杖ト、

所レ謂弓也。総ニ皆ナ為レ除ニ惡道邪路ト也。

與メスナリ救ニ衆生ト也。縱ニ雖レ稱ニ善知識ト、不レ發レ

明セ這箇ヲ、必不レ可レ持ト、云云。

道元在判

〔*図あり。図を先に掲載する〕

〔天童淨和尚曰、慇懃檢ニ點烏藤一看ヨ。花ハ向ニ不崩

枝上ニ開ク。如何カ是拄杖子。拈ニ拄杖一卓一下ノ云、這

箇ノ拄杖子、便チ汝カ拄杖子作麼生カ呈シ作麼生カ

放下セン。便良久ノ云、即今汝カ拄杖子ナリヤ也否ヤ。靈木

超然ト異リ、鳳棲ニ桐梧一無ニ依倚一。又云、乾坤道合

通ルニ無レ碍リ。宋紹定元年九月一日授道元

和尚 右拄杖子ハ、上至有頂天、下至金

輪水際ニ、充塞ノ天地ヲ為レ鉢ト、具ニ足ニ三界一。山

形者、人々箇ノ山形也。知レ得レ這箇ヲ了レハ、契ニ本

分相應理ニ。〔鍍子者、上有頂天、下金輪

水際ノ全鉢也。所レ謂撞破妄想業山一。孫

枝者、佛祖ノ兒孫充ニ塞シテ盡大地、枝葉繁

茂ノ謂ナリ也。〔又拄杖ハ者心也。〔孫枝ハ者、意而影也。表ニ

相ス法身ヲ。擊ニ碎煩惱業山一則、全鉢法身當

鉢也。或ハ言フ、拄杖子化レ成レ龍、吞レ却ス乾坤一、是レ

法身當着ノ時節也。〔拄者魂也。打ニ破煩

惱雜穢生死衆罪ヲ、不レ受ニ是非ノ苦業ヲ。〔杖

者魄也。應シテ娑婆世界ニ成レ主ト。一切千生ノ間、

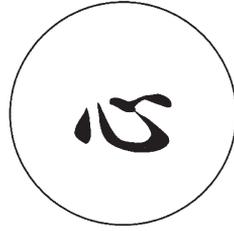
無相ニ受ニ人天供養一。然シテ出生ル世界ニ、從ニ拄

杖中一來ルト云云。從ニ拄杖中一來ト者、謂ニ主中

主ト理也。受用スルトキハ則、從レ左手得來テ用レ右手ニ。

左手ハ久遠、右手ハ今時、向去却來ノ消息

也。



人人具足

箇々圓成

現正法良北判

正法寺—005「宗門拂子」

○宗門拂子 天童如淨和尚云、

這邊那邊、應用無_レ虧、如何是一拂

子。豎_ニ起_テ拂子_ヲ云、須_レ下_ク携_ヘ妙手_ニ來_テ用_ユ。

受用底作廢生_シ云云。任_レ手拈_レ來_レハ著_ク親_ク。

宋紹定元年九月一日付道_ニ元

右以_レ照_シ天地_一日月_ノ位也。天竺_ニ謂_レ喝羅有_ニ

一ノ國。彼ノ國廣_ク百億恒河沙_ニ、有_ニ一ノ龜、龜殼廣_ク

十萬八千億、龜ノ首_ニ有_レ毛、即多寶塔_{ナリ}也。

是以故號_ニ拂子塔_ト、唱_ニ一切諸經_ヲ出_ス。經ノ文字_ハ、

即拂子ノ毛_{ナリ}也。此ノ拂子微細_{ナル}時_ハ、則、成_ニ妙ノ一字_ト。

廣大_{ナル}時_ハ、則、彌_ニ滿沙界_ニ。龜ノ首ノ毛_{ナル}故_ニ、名_ニ龜毛_ト拂_ト。

自_ニ拂子塔_中、出_ニ生諸菩薩_及衣鉢_ヲ、故_ニ

釈迦牟尼佛出_ニ世_シ此_ニ、開_ニ拂子塔_ヲ、宣_ニ說

一切經論_ヲ。故_ニ拈_ニ起_テ彼_ノ拂子_ヲ則、一切經論・衣鉢・

諸菩薩、總_ニ有_ニ手中_ニ。放下_{スル}時_ハ、則、徧_ニ世界_ニ、一拂

スル時_ハ、則、邪魔外道・鬼神魍魎・畜生人天・草木

國土、悉皆成佛_ス。故_ニ佛々祖々相授傳來_ス。不_レンハ

知_ニ此來由_ヲ、不_レ可_レ為_ニ善知識_一、知_ニ得_セハ此ノ旨_ヲ、佛祖

骨髓也。 道元判

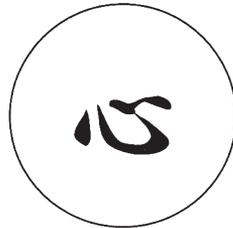
木火土金水五形也

愛染

不動



得。謂^ニ之^ヲ教外^ト。大活現成^ノ、雖^ハ任^レ曉^ト本分^ノ一着
子自性^ノ本心^ヲ、全^ク無^シ蹤跡^一、謂^ル拂子^{ナリ}也。拂
子^ハ、元來無面目^{ナリ}。拶^ノ云、如何是^レ一拂子。良久。



人人具足

箇箇圓成

良北判

へ右箇ノ拂子^ハ者、拈華ノ話也。又五尺ノ境界^ニ、表^ニ準^ス
空風火水地ノ五大^ヲ。此ノ形躰含^ニ藏^シ虚空^一、為^レ主走^ニ
過^ス東西南北中央^ニ。似^レ拂^ニ二万物^一。來^テ在^ニ手中^一則、
佛祖也。從^レ心外來^ル、自^レ心中不^レ來、這箇即是佛祖ノ
心也。真ノ拂子^トハ者、夫^レ如^レ是。拈起^{スル}時^ハ則、佛魔俱^ニ消
除^ス。斷^ニ惡業煩惱妄想^一、一毛中^ニ不^レ就滋味^ヲ。柄^ハ五
輪五躰、三身円滿^ニ而一^如也。故^ニ無^ニ塵勞妄想^一。人
人悉^ク雖^ハ在^ニ生死界^ニ、悟^ル時^ハ根本清淨身^一則、無^ニ可^キ輪
回生死^一。此拂子^ハ在^ニ手中^一則、万法一如、一圓圓滿、
無^ニ際^ニ本分自性^ノ心華也。世尊ノ拈華豈^ニ有^レ為^ル
雜華^{ナランヤ}。世尊發^ニ開^{スル}心華^ヲ時^キ、迦葉ノ心華忽^ニ
開發^ス也。世尊瞬目ノ處、百萬ノ大衆會不

林下曹洞宗における相伝史料研究序説(六)(飯塚・土屋)

正法寺—007「宗門竹篋」

○宗門竹篋 天童如浄和尚云、

突出ノ総ニ難レ辨シ、堀地ニ深埋ム。如何カ是レ竹篋。云、

三尺黒地眠ニ暗室ニ。亦云、隨レ機動揺、

從來未レ露、云云。

宋紹定元年九月一日付道元

南天竺謂ニ竹峯山ト有レ山。彼ノ山ノ形似ニ竹林杖

故名ク。彼ノ山ニ有ニ一ノ獅子、號ニ篋破ト。食ニ衆生ヲ

恒河沙也。釈尊玉ヲカ衆生ニ故ニ、化ニ彼ノ獅

子ヲ、為ニ佛弟子ト。摩頂授記ノ令ニ得佛。

終ニ取ニ彼ノ獅子ノ一毛ヲ作ニ竹篋。所謂彼、

獅子處、住ニ竹峯山ニ、故ニ取ニ此ノ竹峯之

竹ト與ニ篋破之篋、號ニ竹篋ト。所以者何トナレハ、

為メナリト救ニ衆生ヲ拂中シカ惡魔外道ヲ也。故ニ邪

魔外道・魍魎鬼神・毒虫毒龍、當ル時ハ此ノ

竹篋ニ則、悉皆成佛作祖云云。這箇ハ是レ法

身ノ表相ニシテ而擊ニ碎ス衆生ノ煩惱業識ヲ。故ニ三

世ノ諸佛所ニ護念ニ也。不レ善知識ニ不レ相傳、

不レ知ニ得此旨ヲ可レ外道ナル者也。道元判

長三尺二寸 三節

來身 在身 去身
歸來 中現 報正 遺法



心生 行生 苦生 涅生
發卵 奉生 修胎 夏老 提濕 秋病 聚化 冬死

右箇ノ三尺二寸ノ黒地兒ハ、是則三世通達、三世、

諸佛ノ形影、法報應ノ三身、空假中ノ三諦、欲色

無三界、心ノ三点、三乘十二分教等ノ表準也。二寸ハ、

生死ノ二ツ、則チ諸佛ノ通處也。三世ノ諸佛ノ通用スルハ、為

斷ンカ諸衆生之惡業煩惱、清淨法身佛

化ニ千百億ノ分身ヲ、應ニ衆生ノ諸願ニ、令ニ満足。

善知識拈ニ竹篋ヲ打ニ撥スル学人ノ繫念ヲ是ナリ

也。作家ノ宗匠拈シ來打ハ他、全ク非ニ毒手ニ、慈悲ノ

手段ナリ也。竹篋有心ナル時ハ、則チ毒蛇、無心ナル時ハ、則チ自己。一

箇ノ竹篋ナル時ハ、則チ法身當躰、拈ル時ハ、則チ法身當行、

作シ會涉ル時ハ、背觸ニ則チ法身度量埋却也。拗折スル

底ハ是レ法身透過ノ、通ニ達ス三世不可得心ニ。喚テ

作ニ竹篋ニ則チ觸、喚テ不レ作ニ竹篋ト亦背、喚テ作ニ這ノ

什麼ト。良久云、古殿深沈ト、全ク躰未レ露。



人人具足

箇箇圓成

良北判

上來へ法衣・へ應器・へ拄杖・へ白拂・へ竹篋、謂之^レ五種聖財^ト。佛々祖々傳來相承而、到^ニ于我^一。我今付^ニ汝笑丹^一、盡未來際、莫^レ令^ル斷絶^ル。皆元祿十^丁五年
大梅拈華山圓通正法二十四代

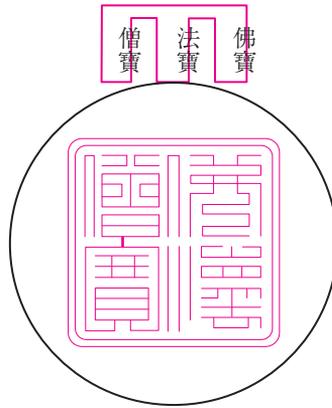
大訥叟良辯



林下曹洞宗における相伝史料研究序説(六)(飯塚・土屋)

正法寺—008 「三寶印」

○三寶印 達磨以来唯授一人



師資
印 碍 無 逆 順

右^{ラスニ}捺有^レ秘訣、三寶^ヲ上^エ作^シ、下^ヲ我前^ニ作^シ印^テ、右手^ニテ朱^ヲ横^ニ塗^ル、是十字圓滿之心也。又手當胸也。是中字^{ナリ}。豎^ニ三際^ヲ窮^メ横^ニ巨^レ十方^ニ心、此時佛菩薩・人蓄・森羅萬象、悉皆一圓、佛魔不二而、邪魔不^レ膠^レ眼、圓滿無際、無欠無餘之義也。捺時右手^ヲ持^レ印、左手^ニ而横^ニ下^ヲ押^エ、右手^ヲ豎^ニ上^ニ置^フ。譬^ハ如^シ十^ノ字^ノ。密^ニ三^ノ版^ヲ唱^テ捺^也。印

住スル時ハ久遠、印破スル時ハ則今時ト観ス。起ス時ハ從レ前起也。不レ知ハ知レ是事ヲ、齋齋カ白紙ニ、塗ル朱ヲ有ル何ノ着眼カ。是宗門知識之一大事也。

嫡々相傳于我、々今付ニ汝笑丹、莫令斷絶、汝能護持

現正法良北判

正法寺—009「釋迦牟尼佛親手花判」

釈迦牟尼佛親手花判



鶴王龜形勢未休 五天文字鬼神愁
孔門弟子無人識 碧眼胡僧笑點頭

真宗皇帝御製讚

正法寺—010

七佛之卷

佛祖正傳要法空塵書

〔*図あり。図を次頁に掲載する〕

○本位ノ中ニ有レ自己、自己ヲ借ル時本位ノ力量ヲ、本位全ク不レ依ニ自己ニ、空劫已

前、那畔ノ主、本地ノ風光也。一切衆生ノ根本ハ空性ノ

大知也。自己ノ淵源、得ニ力量ヲ来ル、是皆本地ノ火光也。今

時照レ之、至ニ本分明タル自己ニ三昧一也。恁麼ノ時、非

自己ニ非ニ本位一、是レ什麼ノ時節ヲ、急ニ須レ著レ眼云云。

佛祖嫡々相承而到于我、吾今授レ汝畢。

先展レ坐具ヲ上敷レ五條、資掛落テ、拜レ師三拜。次

敷ニ戒法ノ一枚書ヲ、資以ニ兩足一踏ニ展戒法之書ヲ、

九ニ拜ス師ヲ、了テ即疊レ書。次ニ坐具上ニ敷ニ五條一、其上ニ

敷ニ七条一、其上ニ敷ニ九条一。師資俱ニ坐ニ其上一、便云、

我今摩訶毘盧遮那頂上。次ニ書シテ卍字ヲ於

一紙ニ、敷ニ九条一上ニ、展ニ兩足一踏レ書也。于時師資俱ニ

一紙ニ同位ニ判スヘシ。以ニ續松ノ火ヲ燒ニ血脈一。師資俱ニ可

レ吞レ之。謂^三之ヲ一器ノ水ヲ移^二ト一器。是則和混合水也。次師資俱ニ疊ニ一紙ヲ爲^三鼻巾ト。師資拭^二ヲ

兩足ノ裏^一、次ニ師資拈^二紙、後手ニ拭^二不淨^一、師安ニ置一紙、展^二大事^一、添^二大事^一ニ納レ之、云、一大藏經^モ拭^二不淨^一故紙ト。展^二大事^一、弟子九

拜^シ了^テ、坐^{スル}時、師傳^二大事^一也。天地未分ノ主有^レ此^ニ、謂^二之ヲ眞箇法王妙中ノ妙^ト也。主出現^ススレハ天地和合^ス、和合^スレハ佛祖共ニ出現^ス、出現^ススレバ草木叢林生^ス、草木叢林生^スレハ、即混沌分^レ了^テ七佛坐^シ玉^フ也。乾坤^ノ二字^{アリ}。乾^ハ是^レ盡^シ。天^ハ是^レ夜、地^ハ是^レ躰也。是乃天地・日月・星辰

也。君臣道合、陰陽始^テ分^ル、曰^二之ヲ夜半ノ天^ト也。卍字^ヲ書^二左右^ニ、左^ハ等覺菩薩位、師躰也。右^ハ妙覺菩薩位、資躰也。傳授^ノ時、資^ハ乃資也。傳授^シ了^レハ、師又

寶也。寶主相交^ル時^ハ、則寶主歴然也。次^ニ師以^二右ノ二指^一摩頂^ノ云、生死事大、無常迅速^ト、三返。付授^シ了^テ、下

座。資問^云、花餅^ニ立^レ松拜^レ君時如何。師云、珍重々々。資又問^云、錦上^ニ敷^レ花時如何。師云、久立珍重^ト坐^ス。即豎^ニ起拂子^ヲ云、柳緑花紅時如何。資對^云、樹

樹松^ハ青^ク躑躅紅^{ナリ}。右如^レ此等ノ大事、次第審細^ニ相傳^ノ之後、懷^二容大事^一了^レ了^テ可^レ去。亦早朝作禮也。又大衆禮^ニ嗣法^ノ人^ヲ。有^二答拜^一。又判形之時、以^二九寸ノ黒絲^ヲ、從^二左ノ第

四指^一刺^{シテ}出^レ血、師資合成^{シテ}作^レ血判^ヲ也。
〱七佛相承儀式目錄

- 〱一、梅絹紋綾白地本書、〱一、杉原、一帖、〱一、薄様、五十枚、
- 〱一、鳥子、二十枚、〱一、檀紙、一帖、〱一、油一燈、〱一、蠟燭、二挺、
- 〱一、續松、二把、〱一、油烟墨、一挺、〱一、筆、一對、〱一、朱、一兩、
- 〱一、襪子、二足、〱一、浴衣、二領、〱一、帶、二本、〱一、時服、二重、
- 右精進時、禪定沐浴^ノ而可^レ傳^レ之。他人見^二知^セハ之^ヲ、佛罰忽^レ可^レ蒙^二其^ノ躬^ニ者^也。可^レ秘^可秘。

佛祖正傳要法空盡中下段

〔*図あり。図を次頁に掲載する。血脈の系譜を以下に掲げる。〕

本師釈迦文佛大和尚―摩訶迦葉和尚

- 阿難陀和尚―商那和修和尚―優婆毘多和尚―提多迦和尚
- ―弥遮迦和尚―婆須密多和尚―佛陀難提和尚―伏駄密多
- 和尚―婆栗濕縛和尚―富那夜奢和尚―馬鳴和尚―迦毘摩
- 羅和尚―那伽樹那和尚―迦那提婆和尚―羅睺羅多和尚―
- 僧伽難提和尚―伽耶舍多和尚―鳩摩羅多和尚―闍夜多和
- 尚―婆修盤頭和尚―摩拏羅和尚―鶴勒那和尚―獅子和尚

—婆舍斯多和尚—不如密多和尚—般若多羅和尚—菩提達磨和尚—

二祖慧可和尚—三祖僧璨和尚—四祖道信和尚—五祖弘忍和尚—六祖惠能和尚—青原行思和尚—石頭希遷和尚—藥山惟嚴和尚—雲巖曇成和尚—洞山良价和尚—雲居道膺和尚—同安道丕和尚—同安觀志和尚—梁山綠觀和尚—大陽警玄和尚—投子義青和尚—芙蓉道楷和尚—丹霞子淳和尚—真歇清了和尚—天童宗珏和尚—雪竇智和尚—天童如淨和尚—永平道元和尚—永平懷奘和尚—

大乘義介和尚—永光紹瑾和尚—總持紹碩和尚—正法良韶和尚—正法良印和尚—正法良用和尚—正法妙菊和尚—正法妙順和尚—正法良椿和尚—正法良鶯和尚—正法良苑和尚—正法良稅和尚—正法良盛和尚—正法良英和尚—正法良奕和尚—正法良圓和尚—正法良通和尚—正法良夏和尚—正法良逸和尚—正法良逸和尚—正法良周和尚—正法良心和尚—正法良總和尚—正法良北和尚—正法海辨和尚—正法新笑丹和尚

正安元巳亥四月十五日、上堂ノ因、世尊教主拈^レ華、八萬人ノ大衆、五百人ノ上足ノ中二指シ上ケ玉フ。大衆首ヲ回メ見トイエ^レ、世尊ノ御意ニ叶ハス。迦

葉一人微笑ス。世尊云、我有正法眼藏、

涅槃妙心。摩訶迦葉ニ付屬スト言テ、後夜

ニ於テ、佛佛ノ儀式ヲナサントシ玉フ。八萬ノ大衆、五百ノ上足ノ目ヲ忍ヒ、耳ヲ塞テ、後夜ニ於テ靈山溪川ノ洞、優婆羅樹ノ室ニ入玉フ。

世尊ハ金像ノ獅子ノ踞ル上ニ、西ニ向テ坐シ玉フ。

迦葉ハ東ニ向テ坐シ玉フ。外面暗メ通所相難シ、則照鷄此ノ室ニ來ル。照鷄トハ、鳥ノ名

也。兩頭ナリ。色ハ赤白ニメ、九處斑ナリ。胸中ヨリ火焰出ス。此ノ室ニ在テ一ノ燈ノ如シ、則

法火ノ發スル處ナリトテ、世尊、迦葉、天ニ向テ禮三拜。迦葉ノ坐具ハ上ニアリ、世尊

ノ坐具ハ下ニアリ。禮三拜了テ、儀式ヲ作シ玉フ。即兩鏡ノ面ヲ合テ、袈裟ノイギニテ頭ヲ

藏シ、上ノ鏡ヲバ世尊ノト取り玉フ、下ノ鏡ヲバ迦葉ノ取り玉フ。影ヲ移シ玉フニ、世尊ノ持

玉フ鏡ニハ、迦葉ノ影アリ。迦葉ノ持玉フ鏡ニハ、世尊ノ御影アリ。是即佛佛ノ通所ナリ。

師資鏡面ノ影ヲ頂キ、袈裟ノイギヲ以、首

ヲ卷キ、摩頂メ云、兩鏡マサニ通用ナリ。正法眼藏ヲ傳テ云、盡未來際莫令佛種斷

絶。是乃佛佛ノ口授ノ偈也。次二一鏡ノ影ヲ移シ、中ニ世尊ヲ遊バシ、舌血ヲ合メ、本佛ヲ以テ、前

後佛ノ名字ヲ連テ云、前佛後佛ノ儀式、
如レ是、末代ノ佛佛ニ於テ断絶セシムル事
莫レ。如レ此儀式ナルニ依リ、今ニ佛菩薩ノ頭
光、一鏡ノ影アリ。又紫雲是ナリ。如レ此了テ
後、切利天ニ上リテ、十二年摩耶經ヲ説キ
玉フ。八萬ノ大衆白レ佛言、如ニキハ此ノ經文、不レ入ニ平等ノ
一會ニ、以レテ何ヲ度ニ三界迷人一乎。願、垂レ玉ヘ方便ヲ。佛、言、
如是々々ト、説玉ヒ金剛ノ十戒一テ、一面ノ鏡ヲ以面ヲ
彰シ、首ニ頂キ、世尊ノ御名ヲ彰シ、前佛後
佛ノ名字ヲ連子、舌血ヲカタドリ、自他ノ首ニ水ヲ洒キ、照鷄燈ノ
九處斑ナルニ喩エ、
續松トナス。諸佛ノ儀式、佛々ノ命根ナリ。
道場ハ塔ナリ。額ハ、歸傳塔ト彰ス。菩薩・
聲聞・緣覺、雲ノ如レ集ル、中ニ摩訶陀國ノ
大王、六萬人ノ眷屬ヲ引連テ、此ノ平等ノ一會
ニ來ル。六種震動ノ、大六天ノ魔王、佛ニ
障礙ヲナサンタメ、盤石ヲ以テ此ノ塔ヲ打碎ン
トテ、天ニ上ル時ニ、塔數多現メ、幾等トモナ
ク、塔多シ。然レバ。額ヲ相ヒ圖ニ打ントスレバ、亦
塔モ額モ多シ。爾時魔王作レ噴、盤石ヲ
擲テバ、即塔トナル。今額是也。十二年過テ、
中天竺ニ此法ヲ傳フ。中華天臺維摩室ニ

林下曹洞宗における相伝史料研究序説(六)(飯塚・土屋)

及マデ、佛々傳來シ、断絶スルコトナシ。空盡
書ノ如ク、末代マテ疑フヘカラス。若シ空盡書無ク
ンバ、天然ノ外道ナルベシ。此書ハ元ハ梵語ニモ
梵文ナリ。久クメ文字サダカナラズ。末代
ニハ是ヲ学ヒ、本トナスベシ。法ノスタレ始ナル
ベシトテ、懷葬和尚假名書ニ作シ玉フ
也。元ノ本ハ、永平開山ノ尊像ノ御胸ニ
納ム。本料紙ハ、唐紙ナリ。必流布ニ属ス
ルコトナカレ。正法トハ古鏡、眼藏トハ舌血、
涅槃トハ無盡、妙心トハ照鷄、火焰ナリ。
付屬トハ通所ナリ。
西天二十四祖獅子尊者ハ過去第五
劫中ニ、白衣ノ多聞智者ナリ。現在ニテ
罽賓國ノカウホウト云里ノ獅子窟ニ
坐スナリ。過去ニテモ比丘ニテ、萬僧供養
シ玉フナリ。教者齋會ニ在テ禪教ヲ
論シ玉フ。然ルニ齋主ト言論スルコト多カリキ。齋主
答、釈理ニ當レリ。故ニ人々齋主ノ答ニ應ズ。
多聞是ヲ深ク遺恨ニ籠テ、從者二人ヲ
以、密ニ毒ヲ餉シカバ、教者即時ニ死ス。彼ノ
教者四劫ヲ經テ、善業ニ依テ、今マ罽賓
國ノ大王ニ生レリ。聞レ多モ道業成テ、善知

識ト生レリ。現在ニテ因果ヲ還サンタメニ、獅子窟ニ入り玉ヘリ。同シ里^{サト}シユカウト云長者アリ。子一人持リ。十七歳マテニ、左ノ手ヲ開クヲナシ、亦言ハズ、片輪者ナリ。長者、是ヲ悲テ、或時尊者ノ前エ連テ出ケリ。去レバ、男子尊者ノ前ニ到テ、左ノ膝ヲ立、右ノ膝ヲ布テ、尊者ニ向テ、説^レ偈云、^レ我今古弟子、妙手中現在、皆是其中、心身舍利ト。尊者聞テ云、我^レ過去ニテ僧タリシ時、西海ノ齋ニ赴テ嚙珠ヲ受テ、汝ニ預ケシナリ。今還スベシ。ト言ヘバ、手ヲ開テ、珠ヲ奉ル、人々はヲ見テ、驚異スルナリ。你ハ過去ニテハ、吾ガ童子タリ。名ハ婆舍斯多ト云、前因ニヨリテ、今亦婆舍斯多ト號スベシ。我ハ則宿業ヲ償フ事アリトテ、前佛後佛ノ儀式ヲナシ申サントテ、兩鏡ノ通處ヲナシ玉フニ、通處叶ハズ、舌血及ハズ、我^レ過去ニメ、法我ノ咎ニヨツテ、儀式叶ハズトテ、深ク天ニ祈誓シテ云、汝左ニ舍利ヲ持バトテ、右ノ指ヨリ血ヲ出メ、前佛後佛ノ名字ヲ連子、摩頂メ云、我^レ今得^ル汝^ヲ靈山ノ世尊、如^レ得^ニ迦葉^一ナリ。正法眼藏ヲ傳フ。盡未來際莫令佛種斷絶

謂^ニ之^ヲ呂ノ偈^ト。

本書云、右大宋寶慶元乙酉九月十八日

前住天童景德堂頭大和尚傳授道元

和尚儀式如^レ斯。祖日侍者、時^ノ燒香侍者也。

宗瑞知客、廣平侍者等周旋^ノ行^ニ此^ノ儀^一。

本朝正應五壬申八月十二日夜半、在于永平

寺妙高堂、拜^ニ請^正本^一、書^ニ寫^之一^ヲ訖。

延文元丙申七月吉日紹碩判、付與良韶

長老、良韶付與良印、^ニ々々^ニ付良乳、以來授手

傳來全ク不^レ可^レ混^ニ雜^他ノ傍出^ノ宗派^下ニ、後

來辨^ニ察^セ焉^一著。宣元祿十丁丑年二月吉日

現正法良北判

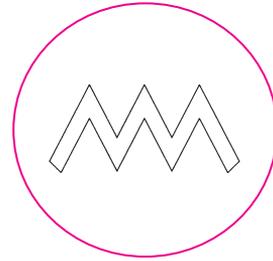
前正法良辯



付與笑丹侍者

正法寺—011「七佛已前之血脈」

天竺一枚反故七佛已前之血脈 書レ白絹

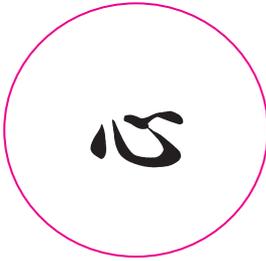


天童如淨判

永平希元判

維時仁治庚子稔季春廿八日夜半書之畢。

七佛傳來而、過去迦葉佛傳ニ付本師釈迦大師ニ、
自レ本師西天二十八祖傳來而到ニ菩提達磨大師ニ、
授來從ニ薄伽梵ニ七十八世良北授與、海辯者



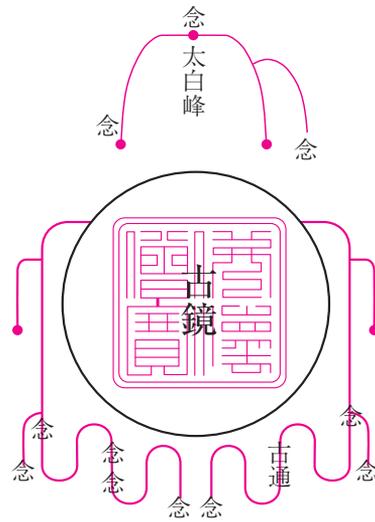
三界混起歸レ一心

良北判

前佛後佛以レ心傳フ

林下曹洞宗における相伝史料研究序説(六)(飯塚・土屋)

正法寺—012「過去七仏ノ儀式」



達磨大師在レ少林入定、觀ニ見過去ノ七佛ノ化
道一、八月十五日夜半、一天月朗空ニ有レ響。告ニ云、
時至レリ也。汝チ弘ニ佛祖ノ道一。從レ空中墮ニ
此ノ圖一也。時師歸レ西天、白ニ般若多羅ニ、般若
多羅許レ之。然ソ後來レ東土、附ニ之ヲ慧可ニ、是
乃七佛ノ儀式也。
建康三乙丑年八月十五日夜得レタリ之ヲ。

正法寺—013「一心傳戒」(仮称)



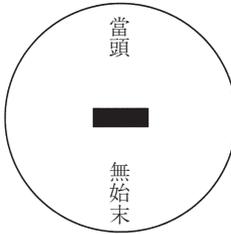
達磨傳慧可

達磨

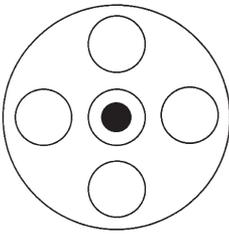
不可得不可得安

二祖

一心傳戒



正法寺—014「洞山五位圖」(仮称)



雲岩傳洞山

正法寺—015「三星圖」

佛正法眼藏 三星圖 祖祖相傳畢

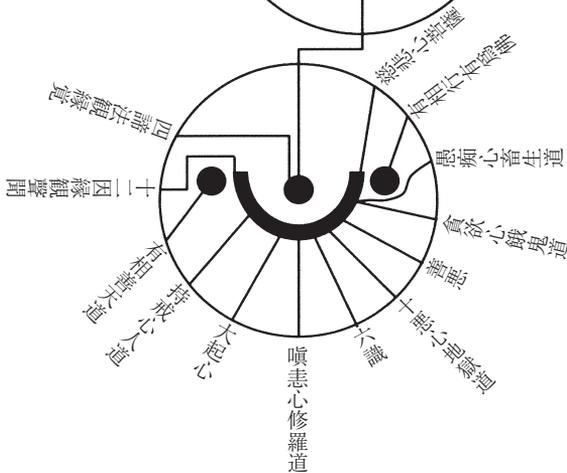
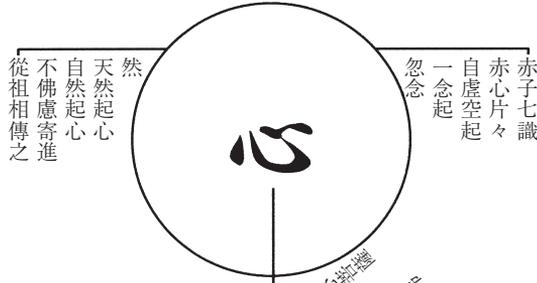
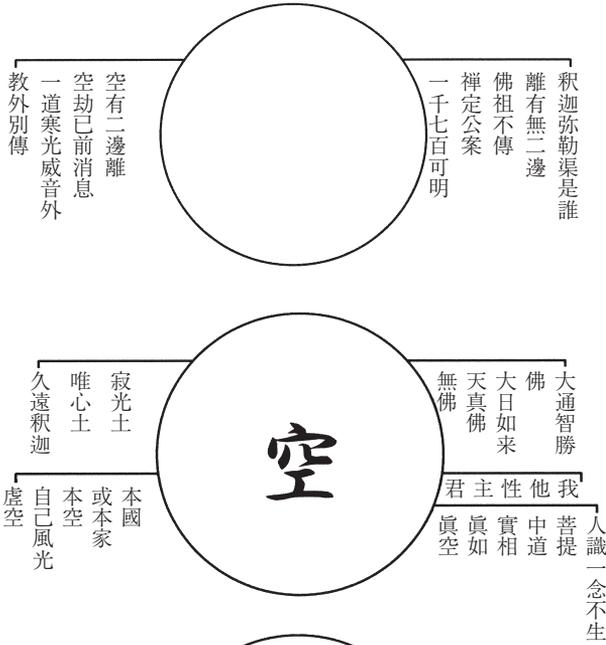
【*図あり。図を次頁に掲載する】

六凡四聖、十界依正ノ者ハ、皆是レ一心一念ノ変作ナリ也。故ニ有性ノ者ハ、在ニ念起以前ニ而念起ノ時モ不識、念無ノ時モ不知ナリ也。故ニ目前ノ虚空ハ即胸ノ虚空也。念與レ念處不知ナル時ハ則目前ナリ也。虚空不レ識、即胸空也、即佛心也。佛知見トハ者便チ是レ大善知識也。故ニ一切ノ諸念ハ虚空ト同ク一如ナリ也、同ニ大般若ニ也。是ヲ為レ知ト。其ノ知ハ則チ主人公ナリ也、万法之主也。是ノ知能ク領ス一切空ニ也。如レ是之空ハ、理事混合ノ而契フ一圓相ニ故ニ是ノ圓一ニ聞見スレバ、則目前之虚空也。是ノ空ハ無念也。無ノ時モ不レ失、有ノ時モ不レ現、終ニ不レ滅、終ニ不レ生、無欠無餘也。故ニ古徳喚テ為レ明眼ト。請フ高ク着テ眼看取セヨ。時節必不レ無ニ人云云。上足ノ外不可許。維時仁治ニ辛丑年三月十八日夜半書畢。現正法良北判

洞山後權リニ開ニ此ノ五位ヲ作レ偈以テ激ニ揚佛祖ノ本宗ヲ



附与笑丹小師

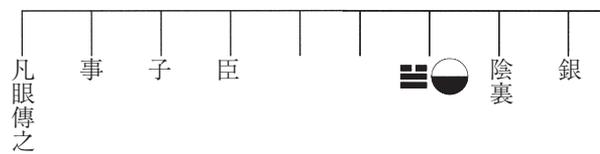
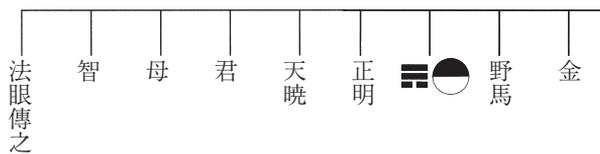
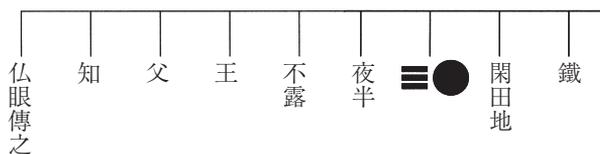
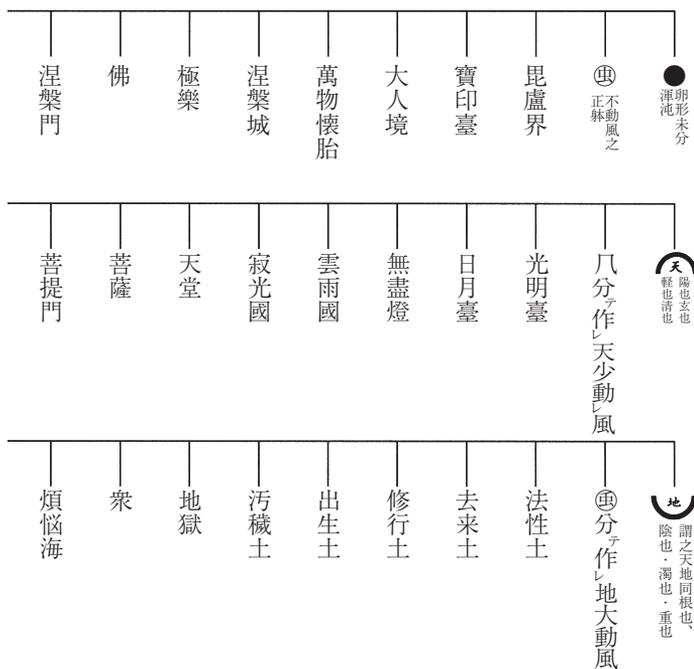


林下曹洞宗における相伝史料研究序説(六)(飯塚・土屋)

林下曹洞宗における相伝史料研究序説(六) (飯塚・土屋)

正法寺—016「郢州大陽明安大師卵形之圖」

郢州大陽明安大師卵形之圖



へ明安大師示ニ義青ニ云、知ニ卵形未分ノ時一無ヤ。
青云、如何カ是レ卵形未分。へ師以レ手作ニ●相一示。

へ問、卵形分破ノ作レ日時キ如何シ。へ師以レ手作ニ○相一示。

へ問、卵形分破ノ作レ日時キ如何シ。へ師以レ手作ニ○相一示。へ問、如何カ是レ卵形未分ノ性。へ師時則默ツシ示。へ問、如何カ是天形ノ性。へ師則出ニ陽息一示。へ問、如何是地形性。

へ師則出ニ陰息ヲ示。遠忽然ソ大悟、禮謝而去ル。后ニ
某甲義青書ニ卵形圖一并ニ師ノ圈續一以テ作ニ宗門

一大事ノ加物ト也。謂ニ之ヲ三箇劍・三談訣・三世血脈・三

寶論・三生眼ト也。凡ソ卵形ノ葛藤ハ者、天ノ之陽氣

下テ、合ソ地之陰氣ニ而、自生ニ動搖之氣ヲ、自然ニ生ス

萬物之躰一ヲ。殊ニ有ニ卵・胎・濕・化生之四生、各自具ス五

蘊・六根ト也。然レ愚ニ而迷フカ故ニ、墮ニ披毛戴角・起

滅塵坑一、輪ニ廻ス三界ニ。智ニ而悟カ故ニ、教外別傳ノ

而、出ス生死ノ窠白一、遊ニ履十方ニ、皆ナレ天風地

風虫之所レ作也。何ノ故ツ、威音王如來、昔シ坐

ニ断ソ卵形中ニ而、未ニ曾テ出ニ生地ニ。此時、諸佛菩

薩不レ見ニ諸佛菩薩ヲ、謂ニ之ヲ不見不知之時ト

也。如來出世ノ回光返照ソ而、深ク省ニ本身ノ相ヲ、得テリ

成ルコトヲ三界ノ導師ト。於靈山會上、拈ニ一枝ノ芳ヲ、引

ニ得頭陀ノ微笑ヲ。后ニ正法流ニ布天下ニ、是卵形ノ分

破以來妙道ナリ也。若シ問ニ卵形未分ノ時一、實ニ無ニ一

法也。吾カ師深ク明ニ本身之相ヲ、權リニ立ニ三種ノ圈續ヲ、以テ

示ス某甲義青ニ。青信受奉行シ畢ス。諸方ノ禪

流、莫レ疑ニ此ノ一大事因縁ヲ、可レ秘可レ秘。

太宋寶慶元丁亥年九月十八日天童景

德堂頭和尚授永平道元、余來

嫡々相附。へ更有諸師着語并記之。

〔*図あり。図を次頁に掲載する〕



石女懐胎

石女所生ノ眼

悉見三千世界道元

長夜漫々

一夜落花ノ雨

滿城流水香懐柴

鳥栖無影樹

花開不萌枝

花落不萌枝徹通

死

死

死壘山

善悪不二

善悪不二

悪明峯

夜半枇煤

明月

蘆花我山

唯我独尊

天上

天下無底

蟄杜戸

一声ノ雷

蟄開戸大源

崑崙入海無消息

文殊騎獅子

普賢騎象月泉

徳雲比丘不下山

別法

相見通幻

維摩詰

釈迦

阿難無端

紫極宮中烏抱卵

銀河波底兔推輪

百億分身處々眞道度

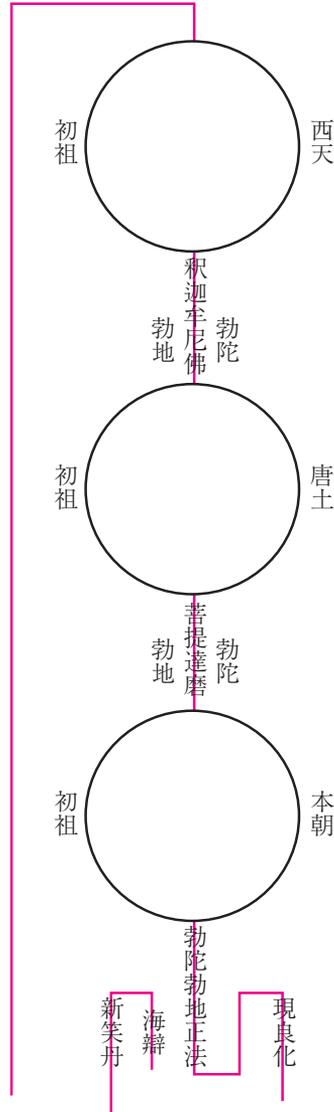
日本康永元年六月十二日総持堂頭
韶碩和尚付正法良韶長老。余来嫡々相
承而到于我、々付海辯小師。
承而到于我、々付笑丹小師。

前正法良辯叟



正法寺—017「三國傳燈血脈」

三國傳燈血脈 地圖上品、青字黄色、三尺五寸二ノ書之。又曰勃陀勃地血脈



世尊昔日擧^ス拂子^ヲ問^レ迦葉曰、把^ニ此毛頭^ニ為^レ心^ヲ為^レ生也。迦葉曰、七佛已前^ノ梁也。世尊曰、へ如何是^レ梁。迦葉曰、七佛已前^ノ一毛是^レ梁、梁是^レ七佛已前^ノ一毛也。世尊曰、梁與^レ一毛相去^ニ多少^ソ。迦葉拳^ニ拳頭^一、開^ニ五指^一。世尊曰、至^ニ三五百塵^一轉劫^ノ外^ニ、附^ニ授^シ此^ノ一大事^一畢^ヌ。迦葉便^ニ九拜^一去^ヌ。

祖々相承傳來而到^ニ于我^一、七十八傳也。

へ師云、如何是^レ梁。云、釈迦。又云、達磨。又云、某甲什麼人^ソ。へ師云、猶^ヲ子細^ニ。云、心^ハ隨^ニ萬境^一轉^ス、々^{スル}處^ニ實^ニ能^ク幽^{ナリ}。へ師云、畢竟作麼生。へ云、即禮三拜。へ師云、梁者^ニ方法^一、棟梁、宗旨之事也。汝能^ク護持^{セヨ}。

現正法良北判

付海辯侍者畢。

林下曹洞宗における相伝史料研究序説(六)(飯塚・土屋)

正法寺—018 「正法眼」(仮称)

我正法眼 向上掃地實到切紙

右以向上掃地者、長揚之工夫、放下肝膽
妬於月洗於水、廓然無聖而無分別
底漢云云。

現正法良北判

正法寺—019 「涅槃妙心」(仮称)

涅槃妙心 微妙法門

右密付、從七佛至我與你、可授無法
財、可授無世財、了了了而可了無法。
代々紹功紹了無其功、如是承續、如
是密傳云云。

現正法良北判

正法寺—020 「七佛儀式目錄」

上來七佛儀式目錄

- 〱一、空盡書、〱一、天竺二枚紙、〱一、大白峰、
- 〱一、寶鏡三昧、〱一、一心傳戒、〱洞山寶鏡三昧、
- 〱一、三星圖、〱一、大圓鏡、〱一、四處合頭、
- 〱一、卵形圖、〱一、傳燈血脈、〱一、正法眼、
- 〱涅槃妙心、

右十三条一一分明也。

皆元祿十_{丁丑}稔五月吉日

大梅拈華山圓通正法二十二世

海盤叟良北判

大訥良辯



付與笑丹侍者

正法寺—021「三昧訣」(仮称)

吾授三昧訣

先師口訣也。

へ從_二過去七佛、嫡傳三品_一中、是_レ最上ノ大
事也。先ツ實相・化相自_ラ具足スル、謂_ニ之ヲ佛種ト。
生々世々不_レ失_ニ人身_一宗要也。生々ニ難_キ受
人身、世々ニ難_レ遇佛法、可_レ崇可_レ悦、繼_テ佛
祖惠命_一、豈_レ非_ニ勝緣_一乎。

へ第一黒赤ノ二圓_ハ者、陰_レ與_レ陽、化相ト與_レ
實躰ナリ也。上圓ハ化相、根本妙躰ニ_テ而諸
佛・衆生、生々世々受_ニ此ノ化相_一同躰也。

佛祖_モ亦經_ニ三祇百劫_一、重緣_ノ終_ニ成_ルコトヲ正
覺_一、所_レ以_テ受_ニ此ノ化相_一不_レ失_ニ人身_一也。直饒
依_ニ善緣_一雖_レ得_ニ智識假稱_一マ、心地未_シハ明_レ了_ナラ、
還_テ可_レ墮_ニ惡道_一也。若_シ遇_ニ此ノ緣_一、頂_ニ受_シ之_一
審細_ニ悟徹スル_者ノハ、即佛身_{ナリ}也。中間ノ卍字_ハ
者、世界國土、十方平等一圓ノ圖也。自_ニ四
方_一視_ル時_ハ之則七ノ字也。七ノ字_ハ一乙合_シ始終_一
枚也。故_ニ卍字_ハ世界露顯_ノ形相、人々化
相ノ本也。然_ル則上ノ圖合_キニ在_ニ次下_一、最初_ニ圖_一レ_ハ之、
則生佛俱_ニ憑_ニ化相_一修持_テ受_ク佛果_一、故_ニ始_一
書_ニ「化相_一宜_{ナリ}也。或_ル派下_ニハ、以_ニ卍字相_一圓_一レ_モ次

下_ニ、一理有_レ之。是乃從_レ躰出_レ用道理_ナラン乎。
へ第二圖、外圓佛界ト與_レ生界也。中間ノ黒圓_ハ、
無名無相、妙ノ之本分也。此事更_ニ無_レシ耐_{タル}頭_レス_ニ之_一。
故圖_ニ黒圓_一、是乃歷劫不_レ盡_ニ性_一ナリ也。又名_ルル_テ七佛_一
魂志魄意神ノ五_ニ、加_ニ心性ノ二精_一ヲ、七_ノ之心_ニ表
準也。昔日七佛優婆羅樹ノ室_ニ、連_ニ七佛_一ノ名
字_一而傳_ニ授迦葉_一、是_レ以_テ心傳_ニ心_一ノ根本_{ナリ}
也。過去ノ二佛、現在ノ二佛、未來ノ二佛、
更_ニ有_レ不_レ離_ニ三世ノ化相_一ヲ一佛_一、合_テ云_フ七佛_ト
也。所_レ謂_テ過去ノ二佛_ハ者、本佛・化佛也。
又佛與_レ我也。又過去ノ二佛ノ親、現在ノ
二親、未來ノ二親、我身合_シ之_ヲ云_フ七躰_ト。二
親_ハ非_ニ父母_一、是_レ本化_ノ二佛也。
へ第三圖、外圓ハ法界也。中間ハ、顯_ス無形_ノ心
佛・本分_ノ正躰_一。雖然未_レ出_ニ外頭_一、在_ニ本分_一
妙心_一中_ニ。次ノ釋迦_ハ、正身ノ釋迦大師、靈山_ノ
教主也。勃陀勃地、此_ニハ_ニ曰_フ覺智_ト。
へ第四黒圓者、天地和合、万般一圓、十方
世界一致_ノ相_一ナリ也。謂_ニ之_ヲ盡法界_ト。恁麼_ノ時
本空_{ナリ}也。無_レシ窮限_一義也。喚_ニ十方一圓_一
枚_ノ處_一云_フ寂光土_ト。是乃本佛ノ居處_{ナリ}也。
喚_ニ本有_ノ如來即心_一ヲ、云_フ唯心淨土_ト也。直饒

林下曹洞宗における相伝史料研究序説(六)(飯塚・土屋)

雖^ニ今^ニ時^ニ出^ル世^ト、如^ニ來^ル云^ニ久^ク遠^ク釈^迦如^來也。人々明^ニ徹^スル^時如^レ是^ノ妙^理ヲ、則^チ久^ク遠^ク釈^迦如^來也。

へ第五^ニ卍^ノ字^ハ、顯^ニ千^ニ百^ニ億^ニ化^ノ身^ノ相^ヲ、現^レ成^ル公^案明^歷々^{ナリ}也。卍^ノ中^ノ心^ハ、万^ノ法^ハ、根^本、妙^心ノ顯^現ナ^リ也。

第一^ノ句^者、向^上ノ一^ノ句^子也。鐵^漢者^ハ、誓^語ナ^リ也。我^今得^ニ宗^門ノ一^ノ大^ノ事[、]更^ニ不^レ可^レ紹^ニ別^師ニ、

又^不レ^ルノ可^レ容^ニ易^之ヲ也。謂^ニ之^ヲ堅^實ノ誓^詞ト、

朱^脉用^レ終^合レ^始、則^チ師^資一^般、生^佛不^二、

始^本同^位、邪^正一^如ノ表^準ナ^リ也。至^レ祝^至禱。

昔^日登^山・峩^山・無^底已^來、代^々傳^問來

如^レ是。如^今亦^問付^海辯、又^付笑^丹侍

者。

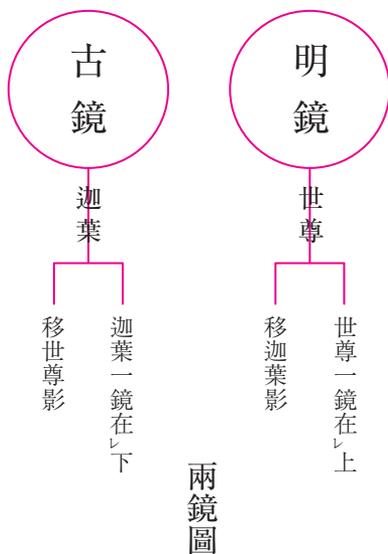
享^保十^四年^己酉^三月^二十^四日

者。

前正法辯大訥

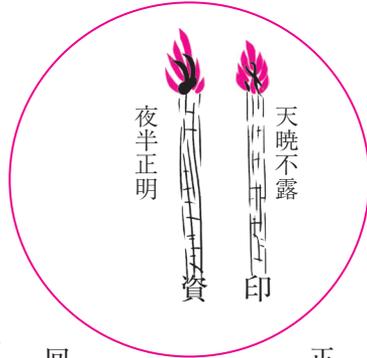


正法寺—022「兩鏡圖」



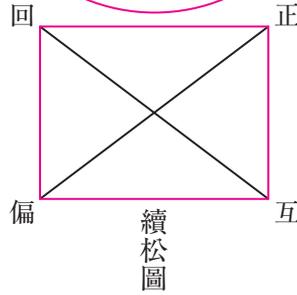
世尊一鏡 本覺位 實 偏 明鏡 影
 迦葉一鏡 始覺位 主 正 古鏡 影
 回互

是始本不二、一牀通處、合面睡着、如^レ是。



樓閣千家月、江湖万里秋

三圓相三回互授可知



林下曹洞宗における相伝史料研究序説（六）（飯塚・土屋）



是時和合妙相圓滿而、只今成レ人。世尊如何^カ摩頂^ス。云、^レ你盡未來際莫令佛種斷絶。又云、^レ摩頂時如何。云、探頭太過。^レ作圓相ハ、師資一般之義、^卍四方ヨリ見^レ之、一人也。從今身至佛身ト付囑ス。探頭^ハ今人、太過^ク佛心^ニ。今^ノ資ガ、直^ニ過去^ノ七佛也。摩頂時、轉大法輪也。不^レ沈^ニ一機来^ノ一点也。

佛

唵

印^レ泥印

佛

南

印^レ水印
報身圓滿

正

璽

寺

印レ空泥

皮膚脱落唯有

一眞實

曲終也不見、江上數峯青。

心

以心傳心

海盤判

前正法辯大訥



付笑丹侍者

へ師云、上圓相ヲ。拳、指天指地云、天地同根、万物一杼。
へ師云、圓中卮ヲ。拳、假二根本ノ妙相ガ顯テソ口。へ師
云、根本ハ無相、甚ガ顯トタゾ。拳、烏カハ黒鷲白シ。

〔追記〕

末筆乍ら、史料翻刻を許可戴きました駒澤大学図書館並びに正法
寺関係各位に甚深の感謝の意を申し上げます。
尚、本研究は、平成二十三年度駒澤大学特別研究助成（個人）に
よる助成を受けています。